プレス・板金・フォーミング展

METAL FORMING & FABRICATING FAIR TOKYO

進化するエコフォーミング金属加工技術展

MF-Tokyo 2009

結果報告書

会期　2009年10月14日（水）▶ 17日（土）10:00〜17:00

会場　東京ビッグサイト 西館1〜2ホール

主催　Jf 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会　日刊工業新聞社

後　援　経済産業省／厚生労働省／環境省／日本貿易振興機構（ジェトロ）

特別協賛　日本塑性加工学会／日本鍛造協会／優秀板金製品技能フェア

関係各位

勤　啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度は「MF-Tokyo 2009 プレス・板金・フォーミング展」の開催にあたりまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の絶大なるご支援、ご協力をいただきました本展は４日間の会期を無事終了することができました。これもひとえに、出展者各位、特別協力、ご後援、ご協賛をいただいた関係官公庁ならびに産業諸団体のご支援、ご協力によるものと深く感謝いたしております。

なお、本展の開催模様につきましては日刊工業新聞紙面等で逐次報道いたしましたが、ここにその結果をまとめましたのでご報告いたします。今後とも関係各位の一層のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

勤　白

2009年12月

一般社団法人　日本鍛圧機械工業会
日刊工業新聞社

■開催名称　日本名称　プレス・板金・フォーミング展
副　　題　進化するエコフォーミング金属加工技術展
英語名称　Metal Forming & Fabricating Fair Tokyo
略　　称　MF-Tokyo 2009（エムエフ トーキョー）

■主　　催　一般社団法人 日本鍛圧機械工業会
日刊工業新聞社

■後　　援　経済産業省、厚生労働省、環境省、日本貿易振興機構（ジェトロ）

■特別協賛　日本塑性加工学会
日本鍛造協会
優秀板金製品技能フェア

■協　　賛　日本金属プレス工業協会／日本金型工業会／日本溶接協会／全国厚板シヤリング工業組合／日本自動車工業会／日本電機工業会／日本産業機械工業会／日本建設機械工業会／日本工作機械工業会／日本ロボット工業会／レーザ加工学会／レーザー学会／日本機械学会／日本工作機械輸入協会／日本工作機械販売協会／中国鍛圧協会

（順不同・法人格略）

■開催期間　2009年10月14日（水）～17日（土）4日間
10：00～17：00

■開催会場　東京ビッグサイト　西1・2ホール

■入 場 料　一般　1,000円
招待券をお持ちの方・事前登録者は無料

■開催規模　112社・団体（内部出展・共同出展含め202社）　701小間

■入場者数

日　付	天　候	人数（うち海外来場数）
10月14日（水）	**曇り時々晴れ**	**5,109（96）**
10月15日（木）	**晴れ**	**6,826（87）**
10月16日（金）	**晴れ**	**8,303（160）**
10月17日（土）	**曇り**	**6,924（44）**
4日間合計		**27,162（387）**

●複数回ご来場いただいた方も、１カウントとして集計しております。

開会式

日　時：10月14日（水）午前9：40～午前10時
場　所：東京ビッグサイト　西ホール アトリウム

出席者：来賓

経済産業省　製造産業局　素形材産業室長 兼 ものづくり政策審議室長	都築　直史　殿
社団法人 日本塑性加工学会　会長	小豆島　明　殿
社団法人 日本鍛造協会　副会長	後藤　充啓　殿

出展者代表

株式会社アマダ　代表取締役社長（国内出展者代表）	岡本　満夫　殿
トルンプ株式会社　代表取締役社長（海外出展者代表）	ハラルド・ディッカートマン　殿

主催者

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 代表理事会長	春山　紀泰
一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 副会長 兼 広報見本市委員会委員長	鈴木　康夫
日刊工業新聞社　取締役社長	千野　俊猛

開会式テープカット

株式会社アマダ 代表取締役社長 岡本　満夫　殿

社団法人 日本鍛造協会 副会長 後藤　充啓　殿

社団法人 日本塑性加工学会 会長 小豆島　明　殿

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 代表理事会長 春山　紀泰

経済産業省 製造産業局 素形材産業室長 兼ものづくり政策審議室長 都築　直史　殿

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 副会長 兼 広報見本市委員会 委員長 鈴木　康夫

トルンプ株式会社 代表取締役社長 ハラルド・ディッカートマン　殿

日刊工業新聞社 取締役社長 千野　俊猛

開会レセプション

日　時：10月14日（水）11：30～13：00
会　場：東京ビッグサイト・会議棟1Ｆ　レセプションホールＡ

次　第：

主催者挨拶

一般社団法人
日本鍛圧機械工業会 副会長
兼 広報見本市委員会 委員長
鈴木　康夫

出展者代表挨拶

トルンプ株式会社
代表取締役社長
ハラルド・ディッカートマン 殿

特別協賛代表挨拶

社団法人 日本鍛造協会
副会長
後藤　充啓 殿

乾　杯

一般社団法人
日本鍛圧機械工業会
副会長
岡本　満夫

▶▶特別講演

トヨタ自動車株式会社
常務役員　牟田　弘文 氏

講演テーマ「トヨタの環境に配慮したものづくり」
と　き：2009年10月15日（木）　14：00～15：00
ところ：東京ビッグサイト会議棟レセプションホール

略　歴

1978年3月	早稲田大学理工学部機械学科卒業	2003年1月	同社	ボデー生技部部長
同年4月	トヨタ自動車工業株式会社（現トヨタ自動車株式会社）入社	同年4月	同社	車両生技部部長
2002年6月	トヨタ自動車株式会社 第2生技部部長	2004年6月	同社	生技管理部部長
		2006年6月	同社	常務役員に就任、現在に至る。

牟田氏は現在、車両生技部、プレス生技部、ボデー生技部、組立生技部、生産物流生技部、塗装生技部、内外装生技部、シャシー生技部、エレクトロニクス生技部、広瀬工場エレクトロニクス製造部、スタンピングツール部、広瀬工場企画管理部工場長、貞宝工場工機管理部工場長、メカトロシステム部、ダイエンジニアリング部、広瀬工場品質管理部をご担当されています。

▶▶日本塑性加工学会テクニカルセミナー

A会場　東京ビッグサイト会議棟605会議室

日本塑性加工学会から、最先端の塑性加工技術の研究成果や、多彩な塑性加工法の最前線の現状と将来性、ハイテン鋼、マグネシウム合金等の加工や鍛造技法など、様々な観点から講演をいただきました。

		講演時間	講演テーマ	講　演　者	概　　要
10月14日（水）	1	10:30～11:10	ハイテンの最新の成形技術	広島大学大学院　工学研究科 教授　吉田　総仁 氏	ハイテンの成形では大きなスプリングバック、ワレ、シワが問題となる。これらの成形不良発生のメカニズムと対策技術について、金型の工夫、シミュレーションやそれを利用した最適金型設計などの最近の技術を紹介する。
	2	11:20～12:00	成形シミュレーションの高精度化の秘訣	東京農工大学大学院 共生科学技術研究院 教授　桑原　利彦 氏	ものづくりの高度化のためには成形シミュレーションの高精度化が必須である。高精度な成形シミュレーションを実現するために、解析技術者が心得ておくべき事項（材料モデリング、要素種類、金型の弾性変形など）について、最新の解析事例を交えながらわかりやすく解説する。
	3	13:00～13:40	サーボプレスを利用した難加工性材料の成形事例	東京都立大学 名誉教授　西村　尚 氏	サーボプレスの特性を述べるとともに、サーボプレスを利用した、ハイテン鋼板、高力アルミニウム板、マグネシウム板、ステンレス鋼板などの難加工性材料の破断回避、スプリングバック低減をモーションコントロール、可変しわ押さえ技術を使って達成した成形性改善事例について述べる。
	4	13:50～14:30	超高張力鋼成形品の熱間プレス成形	豊橋技術科学大学　生産システム工学系　教授　森　謙一郎 氏	熱間プレス成形では、鋼板を加熱することによって、成形荷重を大幅に減少させてスプリングバックをほとんどなくし、成形性を向上させるだけでなく、金型で急冷して焼入れを行うダイクエンチ効果によって1.5GPa程度の引張強さを有する超高張力鋼成形品が得られる。成形中は柔らかく、成形後は非常に硬い製品が得られ、理想的な成形法であり、軽量自動車部品として適用が増加している。
	5	14:40～15:20	ステンレス鋼のしごき加工における潤滑油の焼付き防止性能	名古屋工業大学　機械工学科 准教授 北村　憲彦 氏	ステンレス鋼薄肉容器の深絞り加工としごき加工の実機テストの結果、および模擬的な試験機による潤滑の焼付き防止性能を調べた結果を報告する。
	6	15:30～16:10	ドライプレス加工の最前線	湘南工科大学 コンピュータデザイン学科 教授　片岡　征二 氏	プレス加工の潤滑油が環境負荷へ与える影響は大きく、無潤滑プレス加工、すなわちドライプレス加工の実現が待たれる。セラミックス工具、DLCコーテッド工具、ダイヤモンドコーテッド工具によるドライプレス加工研究の最前線について紹介する。
10月15日（木）	7	10:30～11:10	超音波応用加工技術の最新動向	日本工業大学　機械工学科 准教授　神　雅彦 氏	塑性加工や切削加工に超音波を応用する加工技術が注目されている。超音波の応用により、高精度の微細塑性加工や切削加工が可能となる。ここでは、塑性加工や切削加工に対する超音波応用加工技術の最新動向について解説する。
	8	11:20～12:00	接合・複合の果たす役割および将来展望	名古屋大学大学院 情報科学研究科 教授　森　敏彦 氏	接合・複合は、エコロジー化に向いた技術であり、マイクロ化を含めて製品の高機能化も果たしていく。
	9	13:00～13:40	マイクロ加工の最前線	東北大学　金属材料研究所 大阪センター 教授　早乙女　康典 氏	近年、マイクロ加工に対する需要と技術の高度化が求められている。加工寸法が小さくなると、成形材料の選択や潤滑方法、金型材料とその加工法などに新しい視点と考え方が求められる。実例と共に紹介する。
	10	13:50～14:30	新しい粉からのものづくり－金属粉末加工技術とその応用	九州大学大学院　工学研究院 機械工学部門 教授　三浦　秀士 氏	粉末の成形・焼結を基本とする粉末冶金技術は、形状付与の能力に優れているばかりでなく、鋳造などの溶製法では得ることができない繊細で均一な組織、あるいは焼結後に鍛造を施すことにより高性能でかつ高機能な新種な特性も合わせ持つ複雑形状部品を創り出すことができます。ここでは、金属粉末加工技術の基礎と応用について判り易く紹介致します。
	11	14:40～15:20	軽量化成形技術「チューブフォーミング」の最新動向	首都大学東京　機械工学専攻 教授　真鍋　健一 氏	近年、輸送機器の軽量化成形技術として注目を浴びている「チューブフォーミング」技術について特徴などを解説し、あわせて輸送機器以外の分野も含めた最近の注目される研究トピックスを紹介して今後の動向について述べる。
	12	15:30～16:10	半溶融・半凝固加工プロセスによる高品質部材化技術	産業技術総合研究所 サステナブルマテリアル研究部門 主幹研究員　三輪　謙治 氏	半溶融・半凝固加工の概念を紹介する。また、近年軽量化の期待の高いマグネシウム合金に半溶融プロセス（ランナレス射出成形）を適用する際の、固相率が鋳造欠陥、流動性，機械的性等に及ぼす影響についても概要を紹介する。

		講演時間	講演テーマ	講　演　者	概　　要
10月16日（金）	13	10:30～11:10	鍛造のロードマップと技術動向	名古屋大学　工学研究科 教授　石川　孝司 氏	鍛造のロードマップをもとに鍛造技術の動向を解説し、名古屋大学での鍛造に関する研究（鍛造品精度向上技術、材質予測、割れ予測技術、逐次鍛造等）を紹介する。
	14	11:20～12:00	サーボプレスによるマグネシウム合金の鍛造加工	大阪大学大学院 基礎工学研究科　助教 松本　良 氏	構造部材への適用拡大が期待されるマグネシウム合金について、サーボプレスによる鍛造加工について紹介する。ビレット加熱＋加工特性を考慮した温間鍛造の1モーション鍛造、スライドモーション制御と鍛造特性の関係について説明する。
	15	13:00～13:40	進化するねじ－最新事情－	東海大学　工学部　教授 キャリア支援センター　所長 吉田　一也 氏	ねじのトレンドとしては、高強度化、高耐食化、マイクロ化、軽量化、ゆるみ止め化などの高機能化とねじ頭部形状の特殊化が上げられる。本講演では、①環境を考慮した解体容易なねじ、②マグネシウム合金を利用した軽量ねじ、③医療機器等に利用するマイクロチタンねじについて、それらが求められている背景とその現状について述べる。
	16	13:50～14:30	鋼材表面のポーラス化と冷間加工の潤滑	大阪大学大学院　工学研究科 准教授 宇都宮　裕 氏	鉄鋼材料の表面に薄いポーラス層（多孔質層）を形成させ、液体潤滑剤を用いて冷間鍛造を行うと、潤滑剤がポーラス層に保持され、摩擦が低減されることを新たに見出した。表面ポーラス化の原理を解説するとともに、この新たな潤滑方法の応用について解説する。
	17	14:40～15:20	鍛造における最新の潤滑技術	静岡大学　工学部 教授　中村　保 氏	温・熱間鍛造および冷間鍛造において、荷重の低減、素材変形の制御、焼き付きの防止、金型寿命の向上等を図るため、金型の材質・表面処理、潤滑・冷却技術に種々の開発が行われている。とくに、我が国では、環境対応型潤滑剤とその潤滑技術の進歩が急速に進んでいるため、それらの最新の潤滑技術について講演する。
	18	15:30～16:10	高速塑性加工の現状と可能性	熊本大学　衝撃・極限環境研究センター 准教授 外本　和幸 氏	高速塑性加工に関係して高エネルギー速度分科会を中心に実施されている研究活動の現状を紹介すると共に、各種の方法を利用しようとする際に直面する問題点や、応用技術実現の可能性などについて議論する。

▶▶出展者テクニカルセミナー

B会場　東京ビッグサイト会議棟606会議室

鍛圧機械の国内外を代表する出展企業から、最新製品・最新加工技術についてのセミナーが行われ、最先端の塑性加工を可能にする各社の説明をお聴きいただきました。もちろん環境に優しいMFエコマシン認証製品も説明されました。

		発表時間	発表テーマ	発　表　者
10月14日（水）	1	10:30～11:10	【冒頭講演】プレス加工技術の動向	独立行政法人 理化学研究所　工学博士　　林　　央 氏
	2	11:20～12:00	軟鋼切断における世界最高生産性への挑戦: ツイスターBLADE	コマツ産機　板金KBU開発グループ　主幹技師　　山口　義博 氏
	3	13:00～13:40	板金加工におけるＹＡＧレーザ溶接の可能性について	トルンプ　取締役副社長　　浜川　善和 氏
	4	13:50～14:30	鍛造設備並びに自動化装置の最新技術	住友重機械テクノフォート　プレス設計G　主任技師　　山田　良亘 氏
	5	14:40～15:20	次世代の金型製作とプレス加工	型研精工　代表取締役社長　　濱田　一男 氏
	6	15:30～16:10	我が社のモノづくり	アイシス　取締役技術部 部長　　小酒井　一雄氏
10月15日（木）	7	10:30～11:10	サーボプレスの高精度化とコンパクト化への追求	コマツ産機　鍛圧KBU開発グループ　GM　　木下　洋 氏
	8	11:20～12:00	モーターコアを高精度かつ高速に加工する為のプレス加工ラインの提案	山田ドビー　開発部員　　石原　宗太郎 氏　　稲垣　利生 氏
	9	13:00～13:40	試作から変種・変量生産に対応するデジタルを駆使した加工提案	アマダ　ソリューション販売部門　統括部長　　本田　恒児 氏
	10	13:50～14:30	板金“ものづくり”とソリューション	コニック　営業部長　　渡辺　昭 氏
	11	14:40～15:20	次世代プレス　Zen-Former　～世界一の精度でものづくりに新しい光	放電精密加工研究所　開発事業部 次長　　村田　力 氏
	12	15:30～16:10	ベンディングテクノロジー	サルバニーニジャパン　営業本部 セールスエンジニア　　菊田　英伸 氏
10月16日（金）	13	10:30～11:10	サーボプレス５機種の実績とメリット	アミノ　代表取締役社長　　網野　廣之 氏
	14	11:20～12:00	サーボプレスによるデジタルプロダクト	アマダ　プレス販売技術部　部長　　板倉　英夫 氏
	15	13:00～13:40	トルンプの最新ＹＡＧレーザ情報	トルンプ　代表取締役社長　　ハラルド・ディッカートマン 氏
	16	13:50～14:30	FENIXシリーズの動的精度向上に関する考察	日本電産キョーリ　営業部　営業技術グループ　部長　　中村　隆一 氏
	17	14:40～15:20	レベルフィーダリリースの高速化	オリイメック　開発部員　　荒井　俊 氏
	18	15:30～16:10	サーボプレスの特徴と、その活用事例	アイダエンジニアリング　開発本部　板成形プロジェクトリーダ　　菅沼　俊治 氏

▶▶アトリウムセミナー（出展者技術説明会＝ワークショップ）

●10月14日（水）

	発表時間	発表テーマ	発表者
1	10:30～10:55	モーターコアを高精度かつ高速に加工する為のプレスラインの提案	山田ドビー　開発部 石原　宗太郎 氏 稲垣　利生 氏
2	11:00～11:25	プレスブレーキの安全対策	小森安全機研究所　取締役営業部長 田口　共身 氏
3	11:30～11:55	サーボプレスによる試作から量産までのものづくり支援	アマダ　プレス販売部　部員 坂口　稔 氏
4	12:00～12:25	新世代のファインブランキング	森鉄工　取締役営業部長 林　一雄 氏
5	12:30～12:55	丸ダイス転造による最新技術	ニッセー　営業部 取締役部長 深山　宗谷 氏
6	13:00～13:25	ツイスターの特徴と効果（レーザ、ガスとの対比）	コマツ　板金KBU開発グループ厚板チーム副チーム長 入山　孝弘 氏
7	13:30～13:55	稼働率向上支援ツール活用での板金工程の全体最適について	村田機械　工作機械事業部 板金システム部SEグループ　課長 荒木　均 氏
8	14:00～14:25	YAG溶接の最新技術情報	トルンプ　レーザ事業部　事業部長 若林　浩次 氏
9	14:30～14:55	工具レス　ターレットパンチプレス金型プロテックⅡの開発	コニック　金型販売部 部長 横野　修 氏
10	15:00～15:25	次世代プレス　ZEN-Former機能特長	放電精密加工研究所 メカトログループ　グループマネージャー 高橋　竜哉 氏
11	15:30～15:55	最新サーボトランスファー	ニシダ精機　代表取締役 西田　浩高 氏
12	16:00～16:30	超ハイテン材成形用プレスハードニングライン	エーピーアンドティー　代表取締役社長 藍田　和雄 氏

●10月15日（木）

	発表時間	発表テーマ	発表者
13	10:30～10:55	抵抗溶接の品質管理について～難接合材（アルミヌム、ZAM材など）の溶接～	向洋技研　技術部　係長 橋田 周平 氏
14	11:00～11:25	レベラフィーダーリリースの高速化	オリイメック　開発部 荒井　俊 氏
15	11:30～11:55	サーボプレスの現状と効果事例について	コマツ　鍛圧KBU SEグループ　グループ長 稲葉　励 氏
16	12:00～12:25	開先切断機を主体とした切断機	コータキ精機　PC営業部　部長 加藤　豊 氏
17	12:30～12:55	鍛造設備並びに自動化装置の最新技術	住友重機械テクノフォート　営業担当 吉村　誠治 氏
18	13:00～13:25	変種変量に最適に対応するマシン情報	トルンプ　営業技術部 テクニカルセンター　課長 岡　寛幸 氏
19	13:30～13:55	サーボプレスのメリット実績紹介	アミノ　東京営業所　所長 勝木　慎二 氏
20	14:00～14:25	サーボプレスによる試作から量産までのものづくり支援	アマダ　プレス販売部　部員 坂口　稔 氏
21	14:30～14:55	プレスブレーキの作業安全対策について	理研オプテック　特機事業部取締役　営業部長 加藤　一義 氏
22	15:00～15:25	可変ストロークプレス　FLEXCAM60CEの紹介	日本電産キョーリ　営業部 営業技術G　部長 中村　隆一 氏
23	15:30～15:55	大型サーボプレスと高速タンデムプレスラインのご紹介	IHI ロジスティックセクタープレスプロジェクト部　課長 高橋　毅 氏
24	16:00～16:30	溶接レス化の実現に向けて	ユーロテック　営業推進室　室長 福田　文則 氏

●10月16日(金)

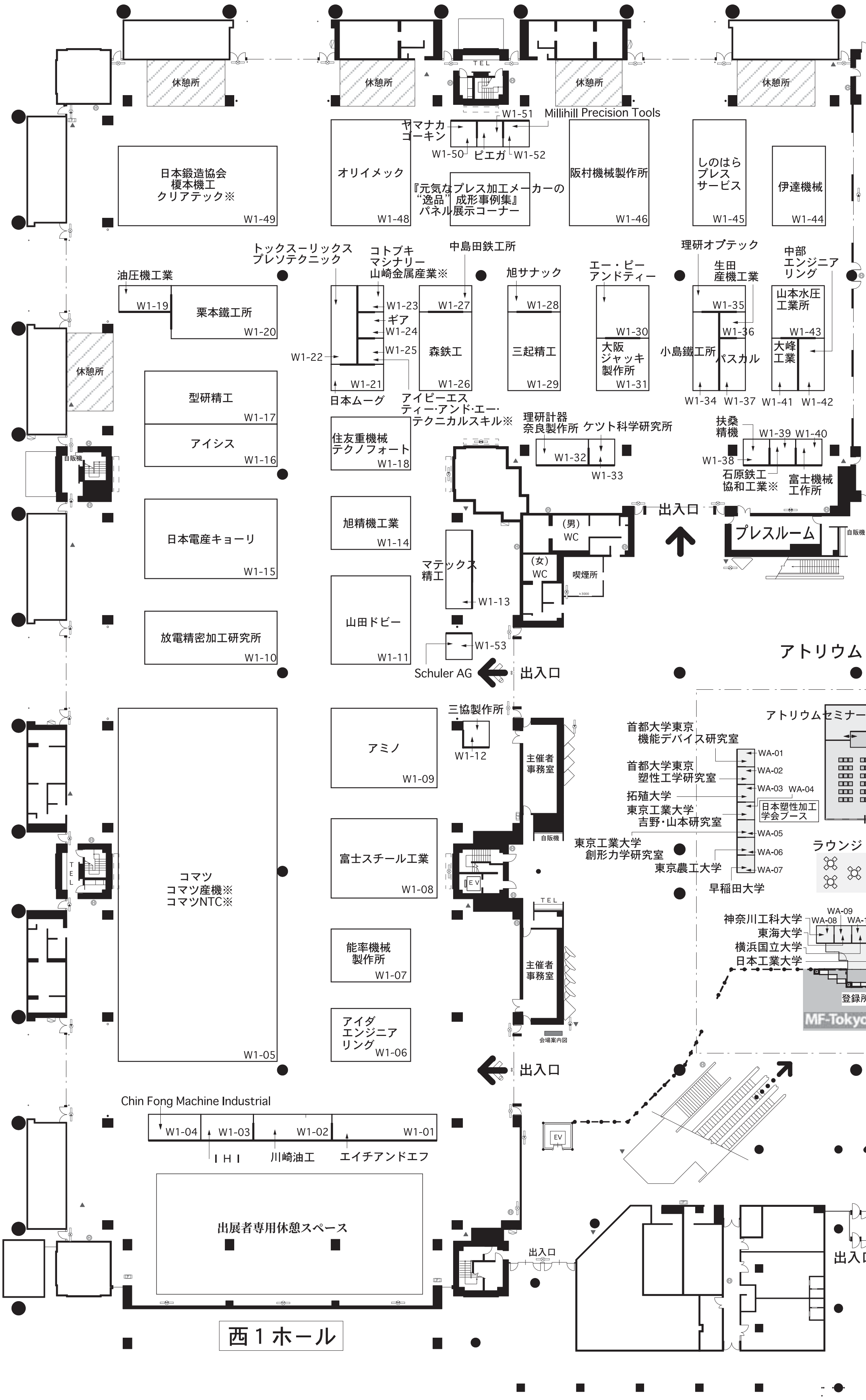
	発表時間	発表テーマ	発表者
25	10:30〜10:55	稼働率向上支援ツール活用での板金工程の全体最適について	村田機械 工作機械事業部　板金システム部SEグループ　課長 荒木　均 氏
26	11:00〜11:25	プレスブレーキの安全対策	小森安全機研究所　取締役営業部長 田口　共身 氏
27	11:30〜11:55	トルンプレーザ切断機の最新情報	トルンプ　営業技術部 テクニカルセンター　課長 岡　寛幸 氏
28	12:00〜12:25	リモートメンテナンス機能を搭載した“究極剛性”プレスブレーキ	相澤鐵工所　代表取締役 相澤　邦充 氏
29	12:30〜12:55	工具レス　ターレットパンチプレス金型プロテックⅡの開発	コニック　金型販売部　部長 横野　修 氏
30	13:00〜13:25	板金加工におけるデジタル技術の活用	アマダ　エンジニア推進部　部長 秋山　勝美 氏
31	13:30〜13:55	小型・省エネ・ハイドロ＆フレキ成形機と既存機の比較	山本水圧工業所　本社　営業部　次長 羽田　勝 氏
32	14:00〜14:25	産業機械用リモートモニタリングシステム「KOMTRAX」について	コマツ　産機事業本部 管理室 企画部　主幹技師 林　清一 氏
33	14:30〜14:55	サルバニーニの取り組みについて	サルバニーニジャパン 営業本部　セールスエンジニア 菊田　英伸 氏
34	15:00〜15:25	“コイルから鉄心”トランス製造設備について	ユタニ　営業 辰巳　芳丈 氏
35	15:30〜15:55	可変ストロークプレス FLEXCAM60CEの紹介	日本電産キョーリ　営業部 営業技術G　部長 中村　隆一 氏
36	16:00〜16:30	ハイブリッドサーボプレスの紹介	川崎油工　技術部　主担当員 松田　靖志 氏

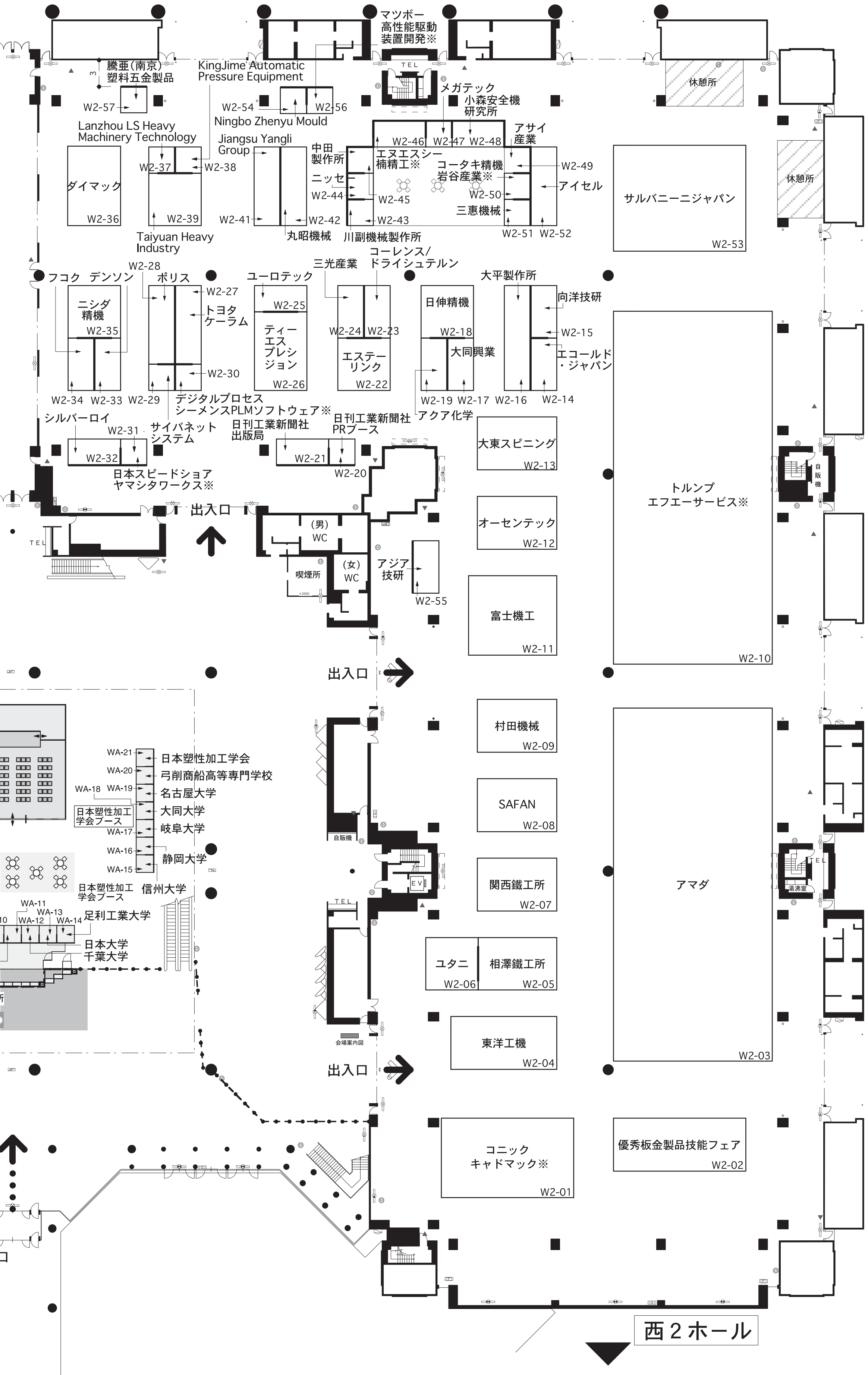
●10月17日(土)

	発表時間	発表テーマ	発表者
37	10:30〜10:55	プレス製品の品質検査	大平製作所　営業部　部長 宇田　浩一 氏
38	11:00〜11:25	モーターコアを高精度かつ高速に加工する為のプレスラインの提案	山田ドビー　開発部 石原　宗太郎 氏 稲垣　利生 氏
39	11:30〜11:55	板金加工におけるデジタル技術の活用	アマダ　エンジニア推進部　部長 秋山　勝美 氏
40	12:00〜12:25	H＆F　サーボプレスの特長	エイチアンドエフ　開発室　課長 西田　賢治 氏
41	12:30〜12:55	トルンプ社の曲げ加工機	トルンプ　営業技術部 宮島　弘之 氏
42	13:00〜13:25	産業機械用リモートモニタリングシステム「KOMTRAX」について	コマツ　産機事業本部 管理室　企画部　主幹技師 林　清一 氏
43	13:30〜13:55	ロール成形加工及び成形機械について（通訳あり）	コーレンス／Dreistern　Area Sales Manager Mr. Herbert Steinbrunner
44	14:00〜14:25	高性能ダイレクトドライブ技術がもたらす生産性の向上	日本ムーグ　モータグループ　グループマネージャー 藤原　謙二 氏
45	14:30〜14:55	板金CADCAMソリューション	ポリス　営業部 彦坂　規行 氏
46	15:00〜15:25	歩留まり向上でコストダウンするプレス製品について	デジタルプロセス プロダクション エンジニアリング部　課長SE 鍬間　直樹 氏
47	15:30〜15:55	プレス硬化：柔軟で信頼性の高い包括的ソリューション	Schuler AG Sales Manager (Hydraulic Press Systems) Mr. Hilko Siebels

小間配置図

※は共同出展者




マツボー
高性能駆動
装置開発※
鵬亜(南京)
塑料五金製品
KingJime Automatic
Pressure Equipment
W2-57
W2-54
W2-56
Ningbo Zhenyu Mould
メガテック
小森安全機
研究所
Lanzhou LS Heavy
Machinery Technology
Jiangsu Yangli
Group
中田
製作所
W2-46
W2-47
W2-48
アサイ
産業
エヌエスシー
楠精工※
コータキ精機
岩谷産業※
W2-49
W2-37
W2-38
ダイマック
ニッセ
アイセル
W2-44
W2-45
W2-50
サルバニーニジャパン
W2-36
W2-39
W2-41
W2-42
W2-43
三恵機械
W2-51
W2-52
W2-53
Taiyuan Heavy
Industry
丸昭機械
川副機械製作所
コーレンス/
ドライシュテルン
W2-28
三光産業
大平製作所
フコク
デンソン
ポリス
ユーロテック
向洋技研
W2-27
ニシダ
精機
トヨタ
ケーラム
W2-25
日伸精機
W2-35
ティー
エス
プレシ
ジョン
W2-24
W2-23
W2-18
W2-15
大同興業
エステー
リンク
エコールド
・ジャパン
W2-30
W2-26
W2-22
W2-34
W2-33
W2-29
デジタルプロセス
シーメンスPLMソフトウェア※
W2-19
W2-17
W2-16
W2-14
シルバーロイ
日刊工業新聞社
PRブース
アクア化学
W2-31
サイバネット
システム
日刊工業新聞社
出版局
大東スピニング
W2-32
W2-21
W2-13
日本スピードショア
ヤマシタワークス※
W2-20
トルンプ
エフエーサービス※
出入口
オーセンテック
W2-12
(男)
WC
喫煙所
(女)
WC
アジア
技研
W2-55
富士機工
W2-11
W2-10
出入口
村田機械
W2-09
WA-21
日本塑性加工学会
WA-20
弓削商船高等専門学校
WA-18
WA-19
名古屋大学
日本塑性加工
学会ブース
大同大学
WA-17
岐阜大学
SAFAN
W2-08
WA-16
静岡大学
WA-15
アマダ
関西鐵工所
W2-07
日本塑性加工
学会ブース
信州大学
WA-11
WA-13
WA-12
WA-14
足利工業大学
日本大学
千葉大学
ユタニ
W2-06
相澤鐵工所
W2-05
東洋工機
W2-04
W2-03
出入口
コニック
キャドマック※
W2-01
優秀板金製品技能フェア
W2-02
休憩所
休憩所
自販機
湯沸室
西２ホール

	出展企業	小間番号
ア	IHI	W1-03
	相澤鐵工所	W2-05
	アイシス	W1-16
	アイセル	W2-52
	アイダエンジニアリング	W1-06
	アイピーエス	W1-25
	ティー･アンド･エー･テクニカルスキル※	W1-25
	アクア化学	W2-19
	アサイ産業	W2-49
	旭サナック	W1-28
	旭精機工業	W1-14
	アジア技研	W2-55
	アマダ	W2-03
	アミノ	W1-09
イ	生田産機工業	W1-36
	石原鉄工	W1-39
	協和工業※	W1-39
エ	エイチアンドエフ	W1-01
	エー・ピーアンドティー	W1-30
	エコールド・ジャパン	W2-14
	エステーリンク	W2-22
	エヌエスシー	W2-46
	楠精工※	W2-46
	榎本機工	W1-49
	クリアテック※	W1-49
オ	大阪ジャッキ製作所	W1-31
	オーセンテック	W2-12
	大峰工業	W1-41
	オリイメック	W1-48
カ	型研精工	W1-17
	川崎油工	W1-02
	川副機械製作所	W2-43
	関西鐵工所	W2-07
キ	ギア	W1-24
	KingJime Automatic Pressure Equipment	W2-38
ク	栗本鐵工所	W1-20
ケ	ケツト科学研究所	W1-33
コ	向洋技研	W2-15
	コータキ精機	W2-50
	岩谷産業※	W2-50
	コーレンス／ドライシュテルン	W2-23
	小島鐵工所	W1-34
	コトブキマシナリー	W1-23
	山崎金属産業※	W1-23
	コニック	W2-01
	キャドマック※	W2-01
	コマツ	W1-05
	コマツ産機※	W1-05
	コマツNTC※	W1-05
	小森安全機研究所	W2-48
サ	サイバネットシステム	W2-29
	阪村機械製作所	W1-46
	SAFAN／新家工業	W2-08
	サルバニーニジャパン	W2-53
	三起精工	W1-29
	三協製作所	W1-12
	三恵機械	W2-51
	三光産業	W2-24
シ	しのはらプレスサービス	W1-45

	出展企業	小間番号
シ	Jiangsu Yangli Group	W2-41
	シルバーロイ	W2-32
	Schuler AG	W1-53
ス	住友重機械テクノフォート	W1-18
タ	大同興業	W2-17
	大東スピニング	W2-13
	大平製作所	W2-16
	ダイマック	W2-36
	Taiyuan Heavy Industry	W2-39
	伊達機械	W1-44
チ	中部エンジニアリング	W1-42
	Chin Fong Machine Industrial	W1-04
テ	ティーエス プレシジョン	W2-26
	デジタルプロセス	W2-30
	シーメンスPLMソフトウェア ※	W2-30
	デンソン	W2-33
ト	騰亜（南京）塑料五金製品	W2-57
	東洋工機	W2-04
	トックス-リックス プレソテクニック	W1-22
	トヨタケーラム	W2-27
	トルンプ	W2-10
	エフエーサービス※	W2-10
ナ	中島田鉄工所	W1-27
	中田製作所	W2-45
ニ	ニシダ精機	W2-35
	日伸精機	W2-18
	ニッセー	W2-44
	日本スピードショア	W2-31
	ヤマシタワークス ※	W2-31
	日本電産キョーリ	W1-15
	日本ムーグ	W1-21
	Ningbo Zhenyu Mould	W2-54
ノ	能率機械製作所	W1-07
ハ	パスカル	W1-37
ヒ	ピエガ	W1-51
フ	フコク	W2-34
	富士機械工作所	W1-40
	富士機工	W2-11
	富士スチール工業	W1-08
	扶桑精機	W1-38
ホ	放電精密加工研究所	W1-10
	ポリス	W2-28
マ	マツボー	W2-56
	高性能駆動装置開発※	W2-56
	マテックス精工	W1-13
	丸昭機械	W2-42
ミ	Millihill Precision Tools	W1-52
ム	村田機械	W2-09
メ	メガテック	W2-47
モ	森鉄工	W1-26
ヤ	山田ドビー	W1-11
	ヤマナカゴーキン	W1-50
	山本水圧工業所	W1-43
ユ	油圧機工	W1-19
	ユーロテック	W2-25
	ユタニ	W2-06
ラ	Lanzhou LS Heavy Machinery Technology	W2-37
リ	理研オプテック	W1-35
	理研計器奈良製作所	W1-32

特別協賛団体出展者一覧

■大学研究室ブース（日本塑性加工学会会員）

出展企業	小間番号
足利工業大学 斎藤（栄）研究室	WA-14
神奈川工科大学 遠藤・加藤研究室	WA-08
岐阜大学 創形研究室	WA-17
静岡大学 塑性加工研究室	WA-16
首都大学東京 機能デバイス研究室・微細加工研究所	WA-01
首都大学東京 塑性工学研究室	WA-02
信州大学 杉本・中山研究室	WA-15

出展企業	小間番号
大同大学 小森研究室	WA-18
拓殖大学 小奈研究室	WA-03
千葉大学 材料加工学研究室	WA-12
東海大学 吉田研究室	WA-09
東京工業大学 創形力学研究室	WA-05
東京工業大学 吉野・山本研究室	WA-04
東京農工大学 桑原研究室	WA-06

出展企業	小間番号
名古屋大学 金武研究室	WA-19
日本工業大学 精密加工研究室	WA-11
日本大学 久保田研究室	WA-13
弓削商船高等専門学校 中研究室	WA-20
横浜国立大学 塑性加工学研究室	WA-10
早稲田大学 浅川基男研究室	WA-07
日本塑性加工学会	WA-21

■日本鍛造協会（小間番号…W1-49）

アサヒフォージ／アルミニウム鍛造技術会／いけうち／インダクトグループ／ウチノ／エア・ウォーター／大宮日進／金型溶接テクニカルセンター／ゴーシュー／サン・アロイ／新東工業／セイタン／ソーテック浜松／タイチク／タンレイ工業／ティエフオー／ディサ／デンコー／浪速鉄工／日本アジャックス・マグネサーミック／日本黒鉛工業／豊和／万陽／水野鉄工所／三菱長崎機工／ミヤジマ／八木工業

■優秀板金製品技能フェア（小間番号…W2-02）

アイエヌ／ 愛建電工／池田機工／イコマ・メカニカル／太田治工／木村電子工業／京浜パネル工業／佐藤医科器械製作所／滋賀産業／シンエイメタルテック／星王工業／成和工業／田中技研／田名部製作所／タマチ電機／ナダヨシ／日洋工業／日本ゲージ／富士工業／プレコ技研工業／細谷精機／ミワインテック／山梨ワークス

■「元気なプレス加工メーカーの“逸品”成形事例集」パネル展示コーナー

伊藤製作所／小川工業／ダイヤ精工／寺方工作所／ニチダイ／日伸工業／フジイコーポレーション／平安製作所／ホクエイ／丸武部品

【広告・広報】

媒体種別	媒体名	発行日付	出稿形態／備考／発行元
新聞	日刊工業新聞	2009.9.18, 9.30, 10.6	半５段
		2009.9.4, 9.14, 10.7	全５段
		2009.10.2, 10.8	全面
		2009.10.14	全面６ページ、広告企画特集
	商経機械新聞	2009.9.24	全５段／商工経済新聞社
	金型新聞	2009.10.10	全３段／金型新聞社
ホームページ	日刊工業新聞社ホームページ	2009.7.13 来場者事前登録開始日	「MF-Tokyo 2009 プレス・板金・フォーミング展」 公式サイトで出展各社と出展物を紹介。
雑誌・機関誌	プレス技術 機械技術 型技術	2009.8～10月号	来場動員広告
		2009.11月号	「プレス技術」・「型技術」合同誌上展
	月刊プレス成形加工	2009.8月・9月号	プレスフォーミングジャーナル社
	溶接技術	2009.9月・10月号	産報出版
	塑性と加工	2009.8月・9月号	日本塑性加工学会誌
	生産財マーケティング	2009.9月・10月号	ニュースダイジェスト社
	SERVO METAL FORUM	2009.7月号	メタルフォームテック社
	経済産業公報	2009.9.28, 10.2, 10.6	全１段　１面／経済産業調査会

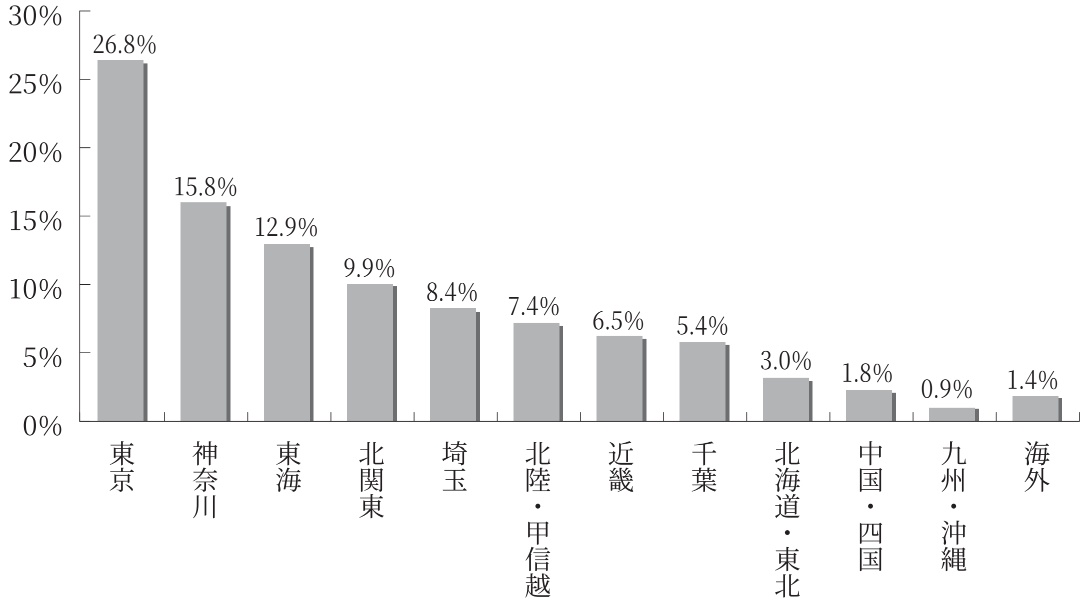
【記事】

媒体名	日付	記事内容・備考
日刊工業新聞	2009.6.9～10.6	連載記事「新天地へ　鍛圧・板金マシンは今」（計33回）
	2009.9.16～10.12	「主役を狙え！」（計８回）
	2009.10.14	出展企業紹介
	2009.10.14	きょう開幕
	2009.10.15	プレス・板金・フォーミング展 開幕
	2009.10.15	現場リポート（上）
	2009.10.15	深層断面
	2009.10.15	春山会長 インタビュー
	2009.10.16	現場リポート（下）
	2009.10.16	特別講演 概要
	2009.10.19	盛況裏に閉幕
金型新聞	2009.10.10	紹介記事／金型新聞社
SERVO METAL FORUM	2009.1月号	紹介記事／メタルフォームテック社
JMSA News Letter	2009.10月号	紹介記事／（社）日本金属プレス工業協会

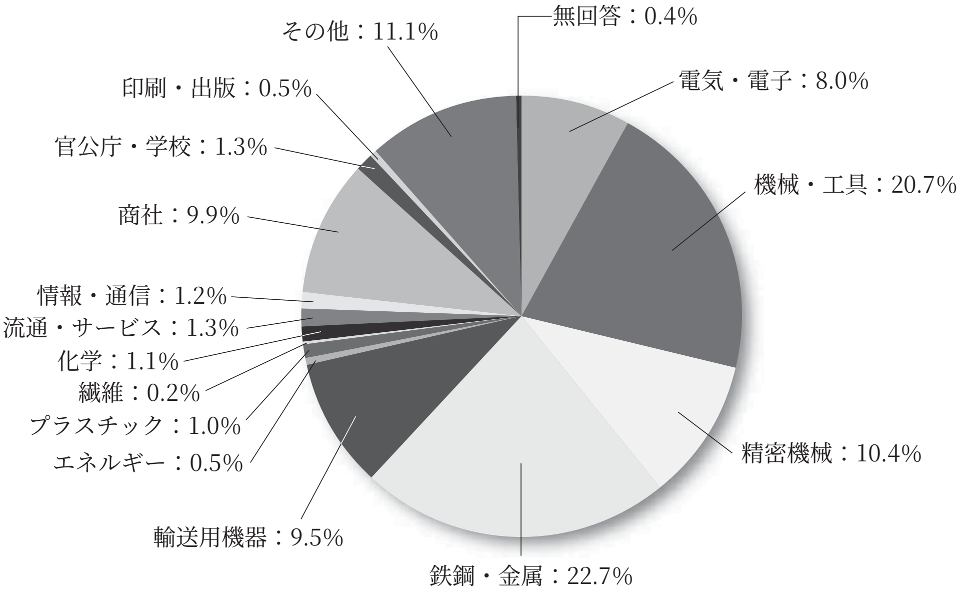
【配布物等】

配布物		配布数	配布先	実施日・期間
招待券 （日本語・英語のほかに中国語・韓国語を作成）	出展者用	400,000	出展者に無料配布（封筒セット）	2009.7月～
	主催者用	100,000	以下の内訳で主催者より配布	2009.8月～
			-日刊工業新聞社の持つDMリスト	
			-日刊工業新聞社発行「新製品情報」購読者	
			-展示会協賛団体	
			-在外公館・貿易促進団体等（日本語・英語）	
			-アジア各国の工業会に配布（英語・中国語・韓国語）	
			-日刊工業新聞社、各支社、支局より配布	
電子メール配信		約110,000	「来場事前登録のお知らせ」メールを５回配信	2009.8月～
ハンディガイド		25,000	来場者、出展者に配布（無料）	会期中
ガイドブック（出展者名簿）		20,000	来場者、出展者に配布（無料）	会期中

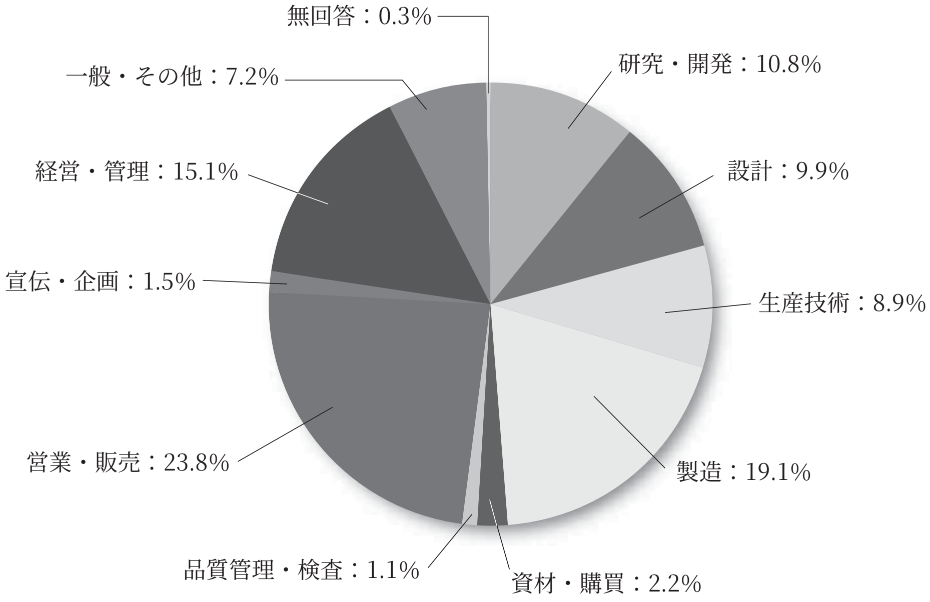
設問１：あなたの勤務地は？



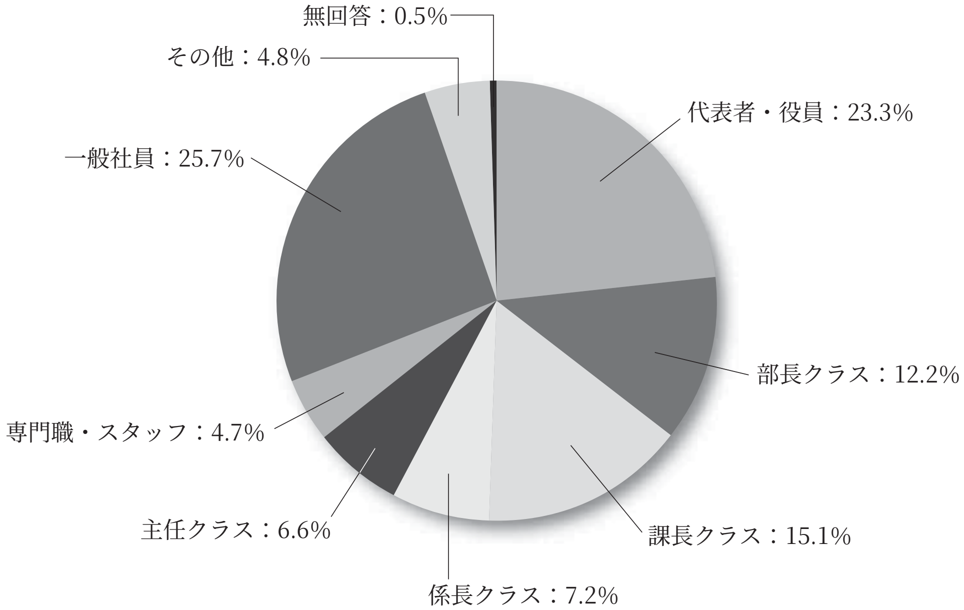
設問2：あなたの業種は？



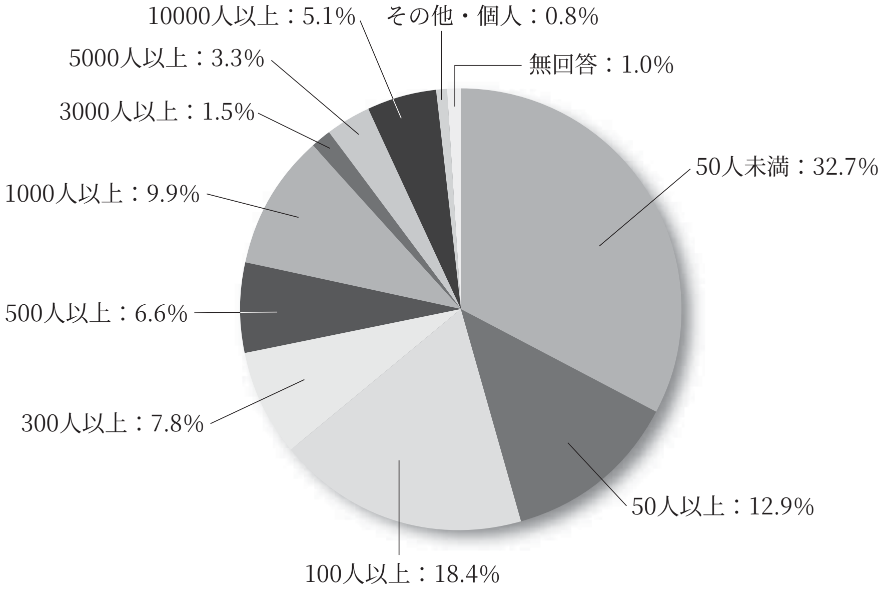
設問3：あなたの職種は？



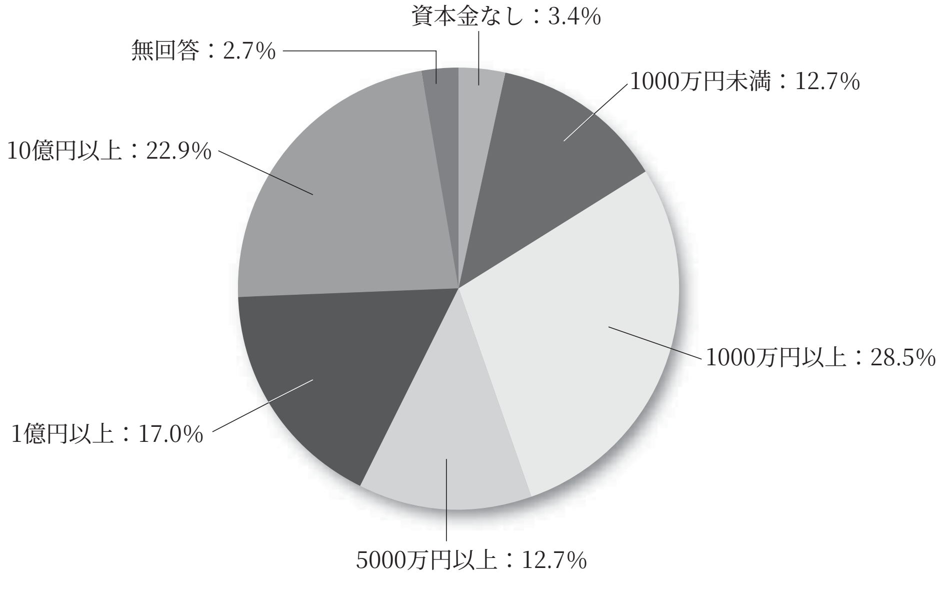
設問4：あなたの役職は？



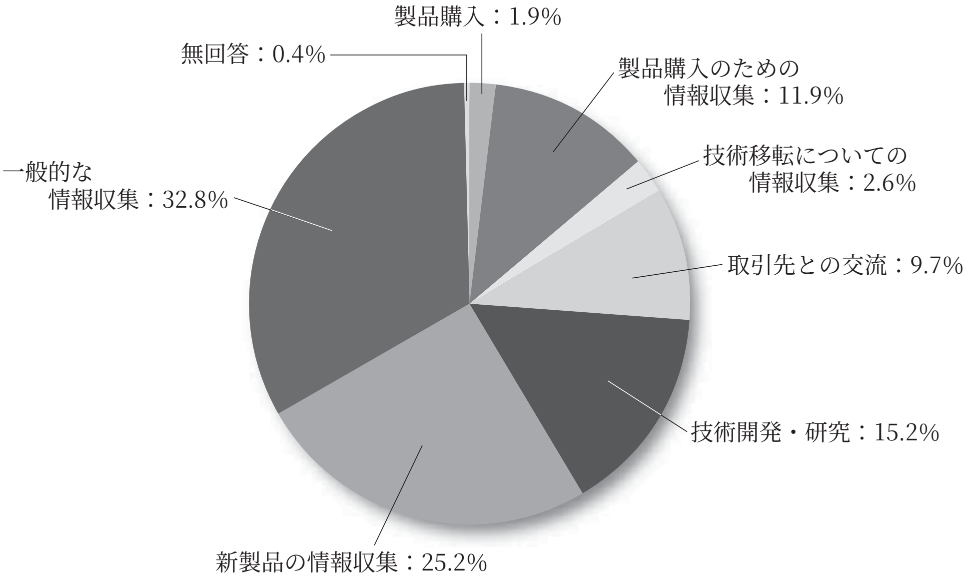
設問5：あなたの会社の従業員は？



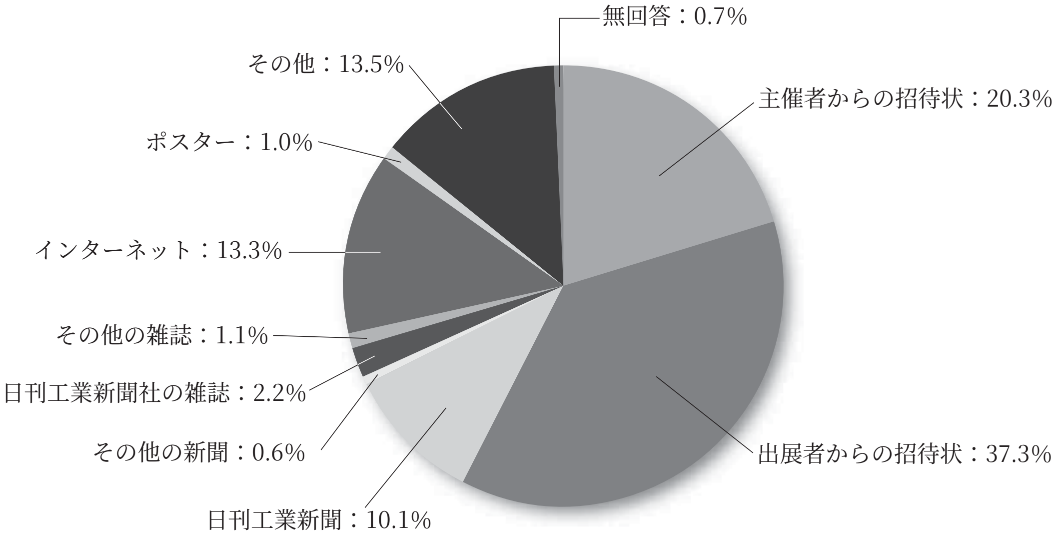
設問6：あなたの会社の資本金はいくらですか？



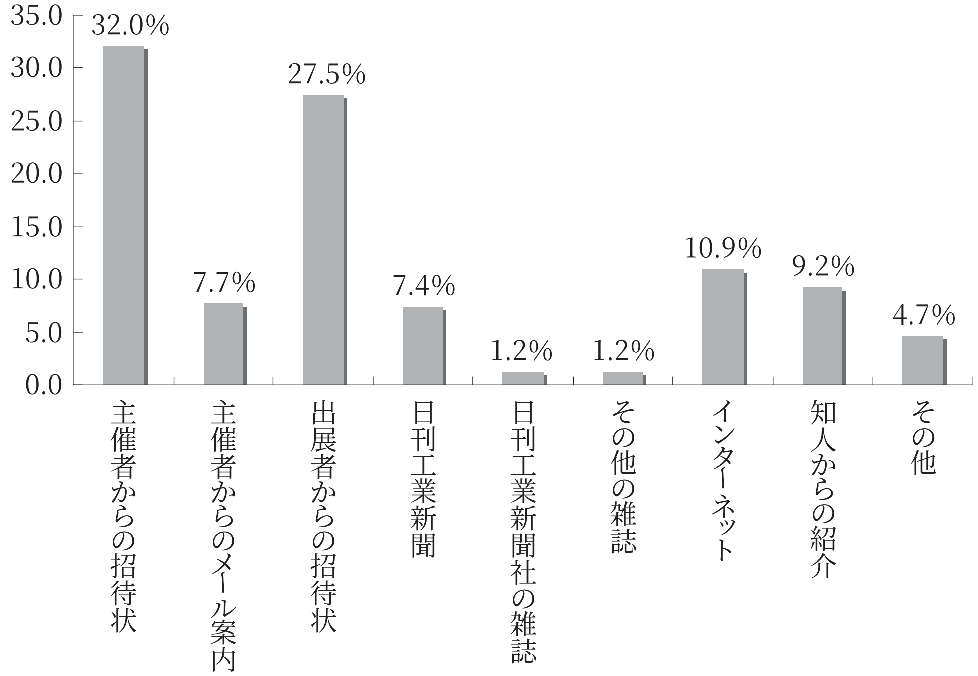
設問7：来場の目的は何ですか？



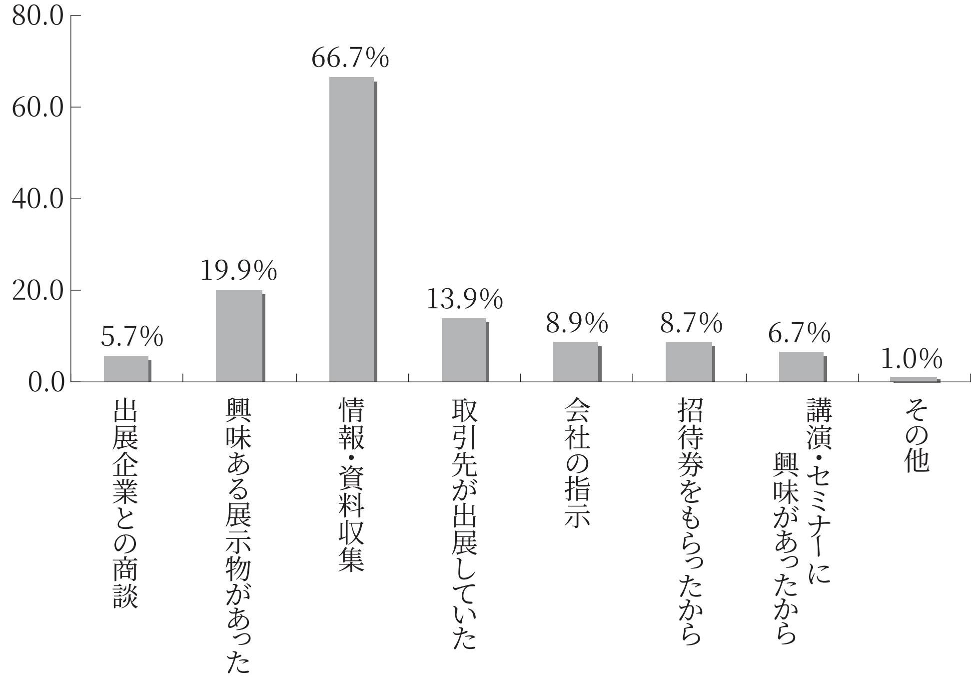
設問8：本展を何で知りましたか？



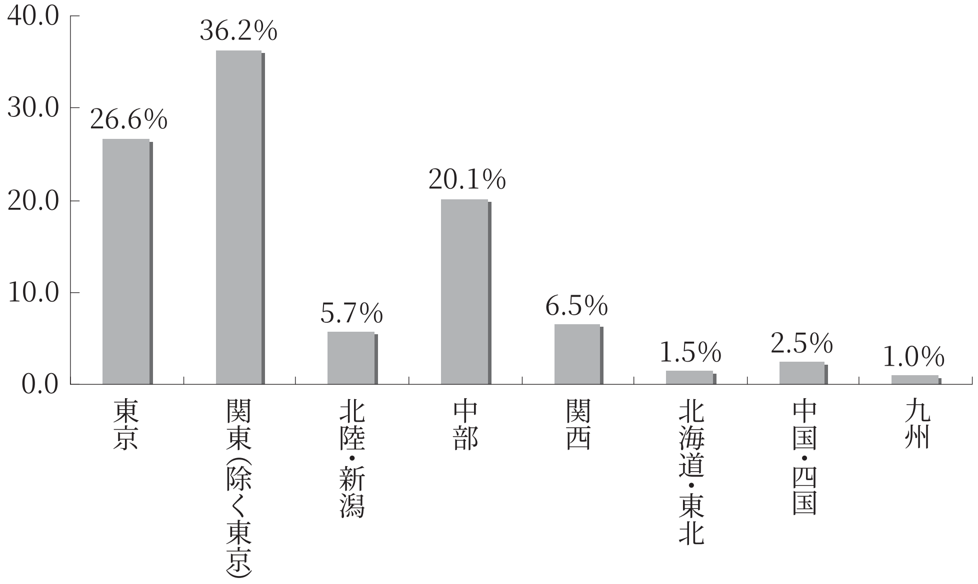
A. 本展を何で知りましたか？



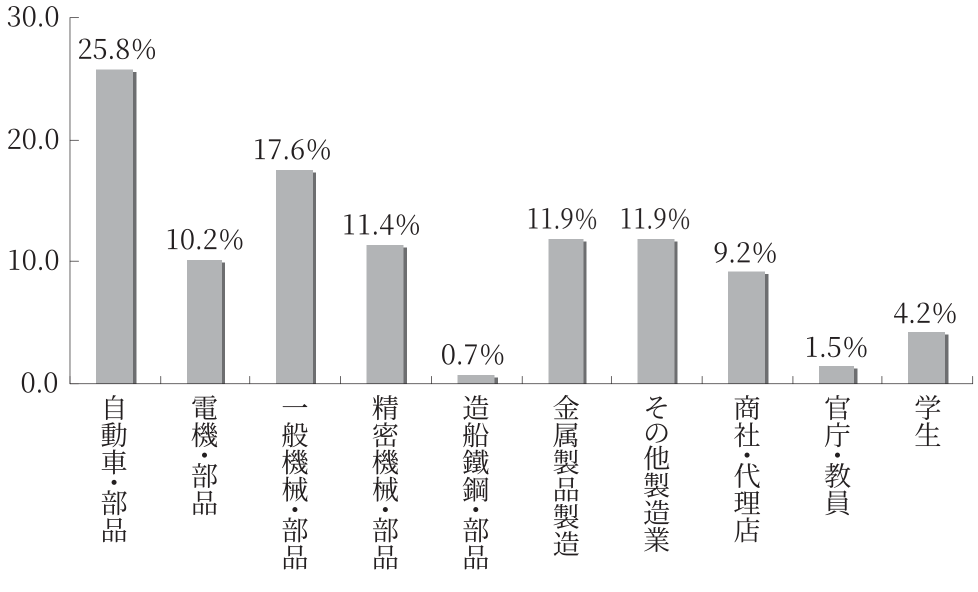
B. あなたが本展に来られた理由はどれですか？（複数回答可）



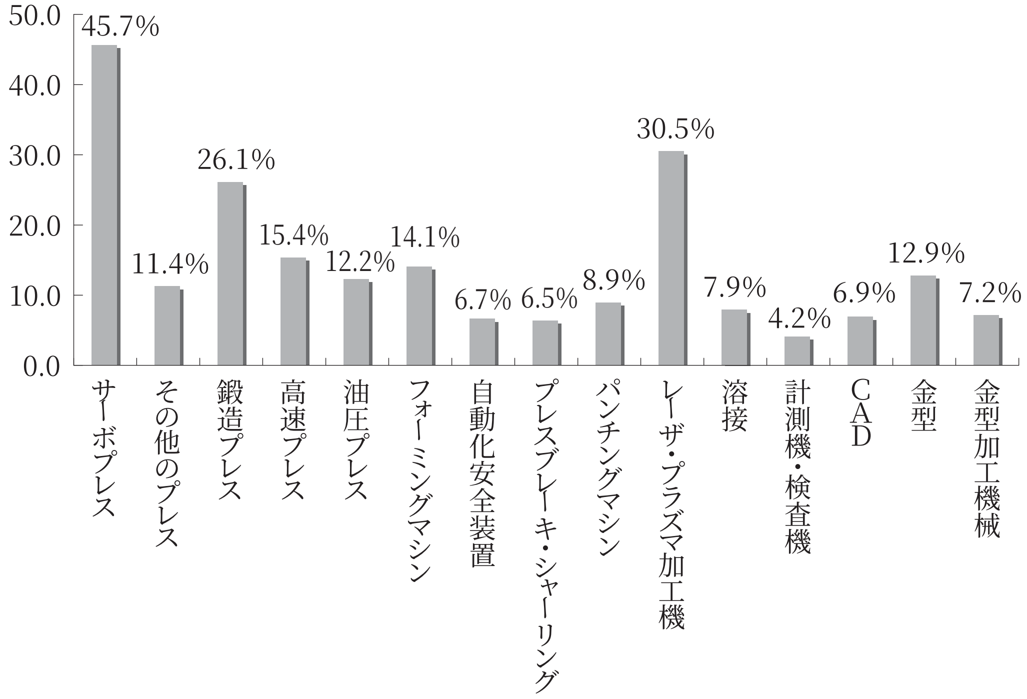
C. どちらから来られましたか？



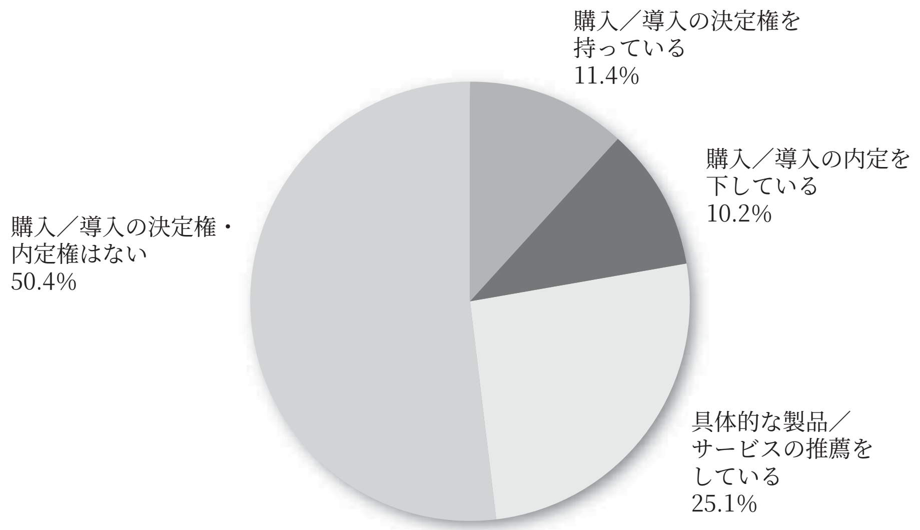
D. どのような業種ですか？



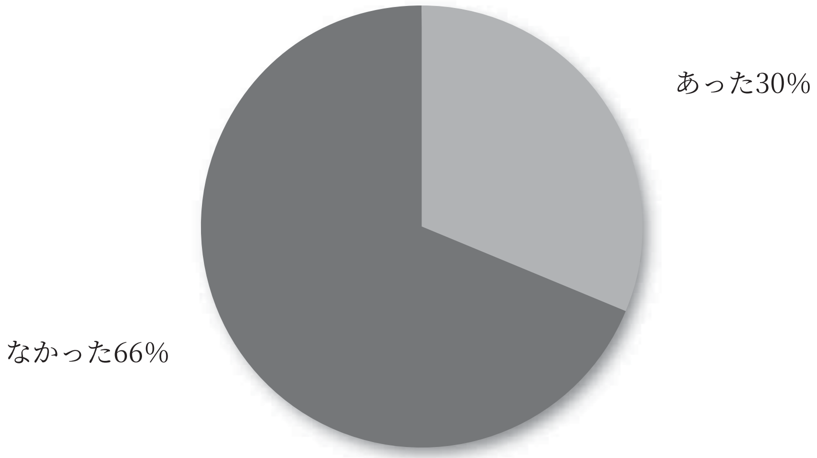
E. 関心をもった機種は何ですか？（複数回答可）



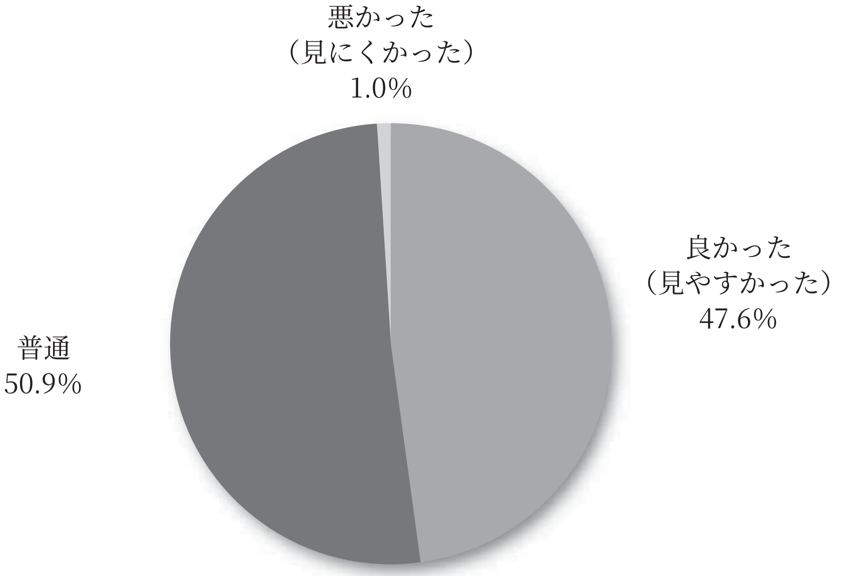
F. あなたの製品及びサービスについての購入・導入における関与度をお教えください



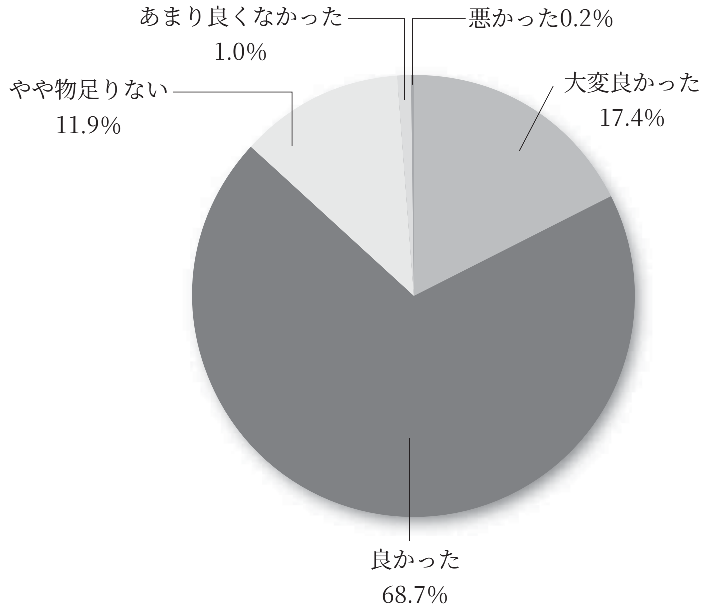
G. 出展製品の中で、一年以内に貴社で購入したい製品はありましたか？



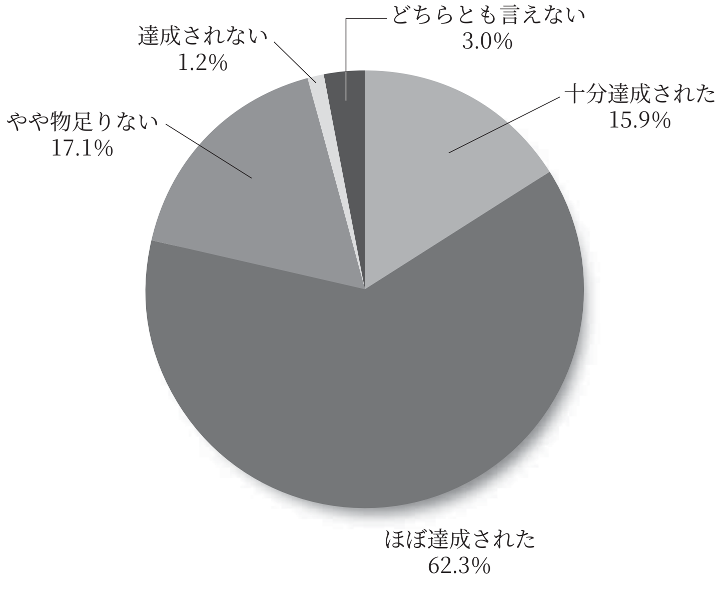
H. 本展示会の会場構成の感想をお聞かせください。



I. 会場内のサービス施設（受付、案内看板、休憩所他）や会場の雰囲気はどうでしたか？



J. ご来場の目的は達せられましたか？



■社　告

（日刊工業新聞　2008. 8.28付）

出展募集！

日刊工業新聞社と日本鍛圧機械工業会は09年10月14日(水)から17日(土)までの４日間、東京ビッグサイトで「プレス・板金・フォーミング展(MF－Tokyo2009)」を開催いたします。関係各位の積極的なご出展をお願いします。

MF－Tokyo 2009

プレス・板金・フォーミング展

▷会期＝09年10月14日（水）―17日（土）
▷会場＝東京ビッグサイト
▷出展対象＝機械プレス、油圧プレス、フォーミングマシン、板金機械、レーザ加工機、自動化装置、安全装置、工作機械、材料、検査・計測・試験機器、設計・製造支援、表面処理ほか
▷出展料＝１小間（間口３㍍×奥行き３㍍）。主催者＝日鍛工正会員 28万3500円
主催者賛助会員・協賛団体正会員 31万5000円
海外工業会会員 34万6500円
一般 37万8000円（以上税込み）
▷最終申込期限＝09年５月26日（火）
▷併催事業＝特別講演、アトリウムセミナーほか
▷申し込み・問い合わせ＝日刊工業新聞社業務局イベント事業部（〒103―8548 東京都中央区日本橋小網町14の１、TEL03･5644･7221、FAX03･5641･8321、Eメールj－event@media.nikkan.co.jp)
日本鍛圧機械工業会（〒105―0011 東京都港区芝公園３の５の８　機械振興会館３F、TEL03･3432･4579、FAX03･3432･4804）
主催　（社）日本鍛圧機械工業会
日刊工業新聞社

■来場動員広告

（日刊工業新聞　5段1/2　2009. 9.18付　9.30付　10.6付）

日本初の塑性加工技術展示会、いよいよ開幕！

112社・団体（内部出展含み202社・団体）701小間で開催！

詳しくは　MF-Tokyo 2009　検索

後　援
経済産業省／厚生労働省／環境省／日本貿易振興機構（ジェトロ）
特別協賛
日本塑性加工学会／日本鍛造協会／優秀板金製品技能フェア
協　賛
日本金属プレス工業協会／日本金型工業会／日本溶接協会／全国厚板シヤリング工業組合／日本自動車工業会／日本電機工業会／日本産業機械工業会／日本建設機械工業会／日本工作機械工業会／日本ロボット工業会／レーザ加工学会／レーザー学会／日本機械学会／日本工作機械輸入協会／日本工作機械販売協会／中国鍛圧協会／（順不同・法人格略）

会期：2009年10月14日㊌→17日㊏
会場：東京ビッグサイト　西館1～2ホール
主催：Jf 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

入場料：1,000円　※本展は、有料登録制となっております。但し、Webからの事前登録者および招待券持参者は無料となります。

●詳細のお問い合わせ先

一般社団法人　日本鍛圧機械工業会
〒105-0011　東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館3F　TEL.03-3432-4579　FAX.03-3432-4804　URL　http://www.j-fma.or.jp　E-mail　info@j-fma.or.jp
日刊工業新聞社　業務局イベント事業部内　MF-Tokyo 2009事務局
〒103-8548　東京都中央区日本橋小網町14-1　TEL.03-5644-7221　FAX.03-5641-8321　URL　http://www.nikkan.co.jp/eve/mf-tokyo/　E-mail　j-event@media.nikkan.co.jp
2009.10.15.

■来場動員広告

（日刊工業新聞　全5段　2009. 9.4付　9.14付　10.7付）

日本初の塑性加工技術展示会、いよいよ開幕！

112社・団体（内部出展含み202社・団体）701小間で開催！

会期：2009年10月14日㊌→17日㊏
会場：東京ビッグサイト　西館1～2ホール
主催：Jf 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

詳しくは　MF-Tokyo 2009　検索

入場料：1,000円
※本展は、有料登録制となっております。但し、Webからの事前登録者および招待券持参者は無料となります。

講演・セミナーも充実して開催！聴講無料です。ホームページからお申込みください。

■特別講演　「トヨタの環境に配慮したものづくり」
トヨタ自動車株式会社 常務役員　牟田 弘文 氏
〈10月15日（木）　14:00～15:00　東京ビッグサイト 会議棟レセプションホール〉

■日本塑性加工学会テクニカルセミナー（全18講座）
〈10月14日（水）～16日（金）　東京ビッグサイト 会議棟605会議室〉
日本塑性加工学会から、最先端の塑性加工技術の研究成果や、多彩な塑性加工法の最前線の現状と将来性など、様々な観点から講演をいただきます。もちろんハイテン鋼、マグネシウム合金等の加工や鍛造技法についてのセミナーもあります。プログラムはホームページをご覧ください。

■出展者テクニカルセミナー（全18講座）
〈10月14日（水）～16日（金）　東京ビッグサイト 会議棟606会議室〉
鍛圧機械の国内外を代表する出展企業から、最新製品・最新加工技術についてのセミナーを行います。最先端の塑性加工を可能にする各社の説明をお聴きください。もちろん環境に優しいMFエコマシン認証製品も説明いたします。プログラムはホームページをご覧ください。

■アトリウムセミナー（全47講座）
〈10月14日（水）～17日（土）　東京ビッグサイト 西ホール1階アトリウム〉
出展企業による出展製品技術説明会を会期中連日にわたり、47本ものセミナーが実施されます。最新情報がきっと得られます。プログラムはホームページをご覧ください。

後　　援：経済産業省／厚生労働省／環境省／日本貿易振興機構（ジェトロ）
特別協賛：日本塑性加工学会／日本鍛造協会／優秀板金製品技能フェア
協　　賛：日本金属プレス工業協会／日本金型工業会／日本溶接協会／全国厚板シヤリング工業組合／日本自動車工業会／日本電機工業会／日本産業機械工業会／日本建設機械工業会／日本工作機械工業会／日本ロボット工業会／レーザ加工学会／レーザー学会／日本機械学会／日本工作機械輸入協会／日本工作機械販売協会／中国鍛圧協会／（順不同・法人格略）

●詳細のお問い合わせ先

一般社団法人　日本鍛圧機械工業会
〒105-0011　東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館3F
TEL.03-3432-4579　FAX.03-3432-4804
URL　http://www.j-fma.or.jp　E-mail　info@j-fma.or.jp

日刊工業新聞社　業務局イベント事業部内
MF-Tokyo 2009事務局
〒103-8548　東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL.03-5644-7221　FAX.03-5641-8321
URL　http://www.nikkan.co.jp/eve/mf-tokyo/
E-mail　j-event@media.nikkan.co.jp
2009.10.15.

■ 来場動員広告

（日刊工業新聞　全面　2009. 10.2付　10.8付（白黒））

日本初の塑性加工技術展示会、いよいよ開幕！

会期：2009年10月14日（水）→17日（土）
会場：東京ビッグサイト　西館1～2ホール
主催：Jf 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

202社・団体701小間で開催！

詳しくは　MF-Tokyo 2009　検索

後　　援：経済産業省／厚生労働省／環境省／日本貿易振興機構（ジェトロ）
特別協賛：日本塑性加工学会／日本鍛造協会／優秀板金製品技能フェア
協　　賛：日本金属プレス工業協会／日本金型工業会／日本溶接協会／全国厚板シヤリング工業組合／日本自動車工業会／日本電機工業会／日本産業機械工業会／日本建設機械工業会／日本工作機械工業会／日本ロボット工業会／レーザ加工学会／レーザー学会／日本機械学会／日本工作機械輸入協会／日本工作機械販売協会／中国鍛圧協会／（順不同・法人格略）

入場料：1,000円
※本展は、有料登録制となっております。但し、Webからの事前登録者および招待券持参者は無料となります。

出展者一覧

※は共同出展者

IHI
相澤鐵工所
アイシス
アイセル
アイダエンジニアリング
アイピーエス
　ティー・アンド・エー・テクニカルスキル※
アクア化学
アサイ産業
旭サナック
旭精機工業
アジア技研
アマダ
アミノ
生田産機工業
石原鉄工
　協和工業※
エイチアンドエフ
エー・ピーアンドティー
エコールド・ジャパン
エステーリンク
エヌエスシー
　楠精工※
榎本機工
　クリアテック※
大阪ジャッキ製作所
オーセンテック
大峰工業
オリイメック
型研精工
川崎油工
川副機械製作所
関西鐵工所
ギア
KingJime Automatic Pressure Equipment
栗本鐵工所
ケツト科学研究所
向洋技研
コータキ精機
　岩谷産業※
コーレンス／ドライシュテルン
小島鐵工所
コトブキマシナリー
　山崎金属産業※
コニック
　キャドマック※
コマツ
　コマツ産機※
　コマツNTC※
小森安全機研究所
サイバネットシステム
阪村機械製作所
SAFAN
サルバニーニジャパン
三起精工
三協製作所
三惠機械
三光産業
しのはらプレスサービス
Jiangsu Yangli Group
シルバーロイ
Schuler AG
住友重機械テクノフォート
大同興業
大東スピニング
大平製作所
ダイマック
Taiyuan Heavy Industry
伊達機械
中部エンジニアリング
Chin Fong Machine Industrial
ティーエス プレシジョン
デジタルプロセス
　シーメンスPLMソフトウェア※
デンソン
騰亜（南京）塑料五金製品
東洋工機
トックス-リックス プレソテクニック
トヨタケーラム
トルンプ
　エフエーサービス※
中島田鉄工所
中田製作所
ニシダ精機
日伸精機
ニッセー
日本スピードショア
　ヤマシタワークス※
日本電産キョーリ
日本ムーグ
Ningbo Zhenyu Mould
能率機械製作所
パスカル
ピエガ
フコク
富士機械工作所
富士機工
富士スチール工業
扶桑精機
放電精密加工研究所
ポリス
マツボー
　高性能駆動装置開発※
マテックス精工
丸昭機械
Millihill Precision Tools
村田機械
メガテック
森鉄工
山田ドビー
ヤマナカゴーキン
山本水圧工業所
油圧機工業
ユーロテック
ユタニ
Lanzhou LS Heavy Machinery Technology
理研オプテック
理研計器奈良製作所

特別協賛団体 出展者一覧

■大学研究室ブース（日本塑性加工学会会員）
足利工業大学　斎藤（栄）研究室／神奈川工科大学　遠藤・加藤研究室／岐阜大学　創形研究室／静岡大学　塑性加工研究室／首都大学東京　機能デバイス研究室・微細加工研究所／首都大学東京　塑性工学研究室／信州大学 杉本・中山研究室／大同大学　小森研究室／拓殖大学　小奈研究室／千葉大学　材料加工学研究室／東海大学　吉田研究室／東京工業大学　創形力学研究室／東京工業大学 吉野・山本研究室／東京農工大学　桑原研究室／名古屋大学　金武研究室／日本工業大学　精密加工研究室／日本大学　久保田研究室／弓削商船高等専門学校　中研究室／横浜国立大学　塑性加工学研究室／早稲田大学　浅川基男研究室／日本塑性加工学会

■日本鍛造協会
アサヒフォージ／アルミニウム鍛造技術会／いけうち／インダクトグループ／ウチノ／エア・ウォーター／大宮日進／金型溶接テクニカルセンター／ゴーシュー／サン・アロイ／新東工業／セイタン／ソーテック浜松／タイチク／タンレイ工業／ティエフオー／ディサ／デンコー／浪速鉄工／日本アジャックス・マグネサーミック／日本黒鉛工業／豊和／万陽／水野鉄工所／三菱長崎機工／ミヤジマ／八木工業

■優秀板金製品技能フェア
アイエヌ／愛建電工／池田機工／イコマ・メカニカル／太田治工／木村電子工業／京浜パネル工業／佐藤医科器械製作所／滋賀産業／シンエイメタルテック／星王工業／成和工業／田中技研／田名部製作所／タマチ電機／ナダヨシ／日洋工業／日本ゲージ／富士工業／プレコ技研工業／細谷精機／ミワインテック／山梨ワークス

「元気なプレス加工メーカーの“逸品”成形事例集」パネル展示コーナー
伊藤製作所／小川工業／ダイヤ精工／寺方工作所／ニチダイ／日伸工業／フジイコーポレーション／平安製作所／ホクエイ／丸武部品

講演・セミナーも充実して開催！聴講無料です。ホームページからお申込みください。

■特別講演
「トヨタの環境に配慮したものづくり」（仮題）
トヨタ自動車株式会社 常務役員　牟田 弘文 氏
〈10月15日（木）　14:00～15:00
東京ビッグサイト 会議棟レセプションホール〉

■日本塑性加工学会テクニカルセミナー（全18講座）
〈10月14日（水）～16日（金）　東京ビッグサイト 会議棟605会議室〉
日本塑性加工学会から、最先端の塑性加工技術の研究成果や、多彩な塑性加工法の最前線の現状と将来性など、様々な観点から講演をいただきます。もちろんハイテン鋼、マグネシウム合金等の加工や鍛造技法についてのセミナーもあります。プログラムはホームページをご覧ください。

■出展者テクニカルセミナー（全18講座）
〈10月14日（水）～16日（金）　東京ビッグサイト 会議棟606会議室〉
鍛圧機械の国内外を代表する出展企業から、最新製品・最新加工技術についてのセミナーを行います。最先端の塑性加工を可能にする各社の説明をお聴きください。もちろん環境に優しいMFエコマシン認証製品も説明いたします。プログラムはホームページをご覧ください。

■アトリウムセミナー（全47講座）
〈10月14日（水）～17日（土）　東京ビッグサイト 西ホール1階アトリウム〉
出展企業による出展製品技術説明会を会期中連日にわたり、47本ものセミナーが実施されます。最新情報がきっと得られます。プログラムはホームページをご覧ください。

●詳細のお問い合わせ先

一般社団法人　日本鍛圧機械工業会
〒105-0011　東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館3F　TEL.03-3432-4579　FAX.03-3432-4804
URL　http://www.j-fma.or.jp　E-mail　info@j-fma.or.jp

日刊工業新聞社　業務局イベント事業部内　MF-Tokyo 2009事務局
〒103-8548　東京都中央区日本橋小網町14-1　TEL.03-5644-7221　FAX.03-5641-8321
URL　http://www.nikkan.co.jp/eve/mf-tokyo/　E-mail　j-event@media.nikkan.co.jp　2009.10.15.

■ 来場動員広告

「プレス技術」
「機械技術」　2009.8～10月号
「型技術」
「月間プレス成形加工」2009.8.9月号
「溶接技術」2009.9.10月号
「塑性と加工」2009.8.9月号
「生産財マーケティング」2009.9.10月号
「SERVO METAL FORUM」2009.7月号

■ 来場動員広告

（経済産業広報　2009. 9.28付　10.2付　10.6付）

■ 企画特集

（日刊工業新聞社　月刊「プレス技術」「型技術」合同誌上展　2009.11月号）

出展者名	出展内容	頁
日本鍛圧機械工業会	MF-Tokyo2009「プレス・板金・フォーミング展」開催 機械・加工技術・ソリューションの日欧競演をアジアに向けて発信する 一般社団法人日本鍛圧機械工業会 専務理事 松本憲治氏に聞く	2
㈱アマダ	サーボプレスなど6機種を展示　加工イノベーションを提案	4
型研精工㈱	ECO-トランスファープレスシステム	6
鋼鈑工業㈱	高ハイテン材用金型・フレームハード鋼・鋳物へのコーティングには プラズマハード処理が有効	8
三和商工㈱	金型補修で顧客の信頼を培う－㈱アイビーエム 溶接から硬化、研磨、洗浄まで、金型補修をトータルサポート！	10
トルンプ㈱	高生産性・低コストと高品質・短納期化を実現するトルンプの最新モデル	14
㈱エイチアンドエフ	成形および搬送に適切なモーションで世界の トップクラスの生産性	16
㈱岡本鐵工所	100周年を迎え、新たな気持ちで鍛造業界の更なる発展を お手伝いさせて頂きます	18
㈱富士機械工作所	薄肉パイプの内から外への高精度切断 パイプシャーリングカット	20
㈱ギア	プレスとタップの同時加工で、より価値の高い加工を 多軸タップ機サーボタップ®＋型内用プログタップユニット	22
サイバネットシステム㈱	板成形解析ソフトウェアeta/DYNAFORM	24
㈱中田製作所	理想のパイプ成形機“FFXミル”	26
森鉄工㈱	ワンショットフォーミングプレスの紹介	28
会場MAP		30
出展者リスト		32

（日刊工業新聞　2009.10.14付）

robonable ロボナブル
ロボットきちのポータルサイト
http://www.robonable.jp/

日刊工業新聞
Business & Technology
MF－Tokyo2009
第２部　2009年（平成21年）10月14日（水曜日）　1

MF-Tokyo2009
プレス・板金・フォーミング展
進化するエコフォーミング金属加工技術展

MF－Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展

東京ビッグサイト

17日（土）まで開催

先端の「塑性加工技術」 環境配慮型製品が一堂

日本鍛圧機械工業会と日刊工業新聞社共催の「MF－Tokyo2009プレス・板金・フォーミング展」が、14日から17日までの4日間、東京・有明の東京ビッグサイト（西展示棟1－2ホール）で開催される。塑性加工技術の総合展示会として、初めての開催となる。「進化するエコフォーミング金属加工技術展」をテーマに、国内外から112社・団体（内部出品含む202社）が出展する。入場料は1000円、招待状持参者と事前登録者は無料。開場時間は10時から17時まで。

金属加工機械は鍛圧機械と工作機械に区分され、その鍛圧機械業界は、日本とドイツのメーカーで大きく二分される。欧州と米国での鍛圧機械の専門展示会は、工作機械専門展示会のEMO、IMTSと並ぶほどに成長している。一方、これまで日本を含めたアジアでは鍛圧機械を含む「塑性加工技術」の大規模な展示会は行われていなかった。こうした中、日本鍛圧機械工業会創立60周年記念事業として国内初、塑性加工技術の大規模展示会「MF－Tokyo2009」が開催される。

同展のテーマは「進化するエコフォーミング金属加工技術展」。切り粉の出ない無駄のない環境に優しい塑性加工技術の特色だけでなく、機械業界初のMFエコマシン認証制度に適合した環境に優しい「MFエコマシン」の環境配慮型製品が展示される。また、海外メーカーからの出展が全体小間の21%に当たる7カ国、17社が出展し、国際色の強い展示会となっているのも特徴だ。

製品の展示だけでなく、特別講演とセミナーが数多く用意されている。15日14時から牟田弘文トヨタ自動車常務役員が「トヨタの環境に配慮したものづくり」をテーマに講演する。会期中は3セミナーが開催され、テーマは「鍛圧ソリューションの最前線」。日本塑性加工学会テクニカルセミナーは、最先端の塑性加工技術の研究成果や多彩な塑性加工法の最前線の現状と将来性など、さまざまな観点から講演する。出展者テクニカルセミナーは、鍛圧機械の国内外を代表する出展企業が、最新の製品・加工技術のセミナーを行う。アトリウムセミナー（出展者技術説明会＝ワークショップ）では、出展企業がオープン参加方式でトレンドな自社技術を紹介する。

鍛圧ソリューションが一堂に結集することで、来場者にとっても、技術交流や商談の場、さらには技術革新への道しるべとなりそうだ。

金型が組み上がった段階で、プレス機に装着してトライ・調整を行う。写真はベテラン社員が若手社員にトライの手順を教育。作業者の習熟度が金型精度に直接表れるため、技能伝承は重要な課題だ（長野県諏訪市の太陽工業）

ごあいさつ

日本鍛圧機械工業会
代表理事会長　春山　紀泰

モノづくりの未来探る

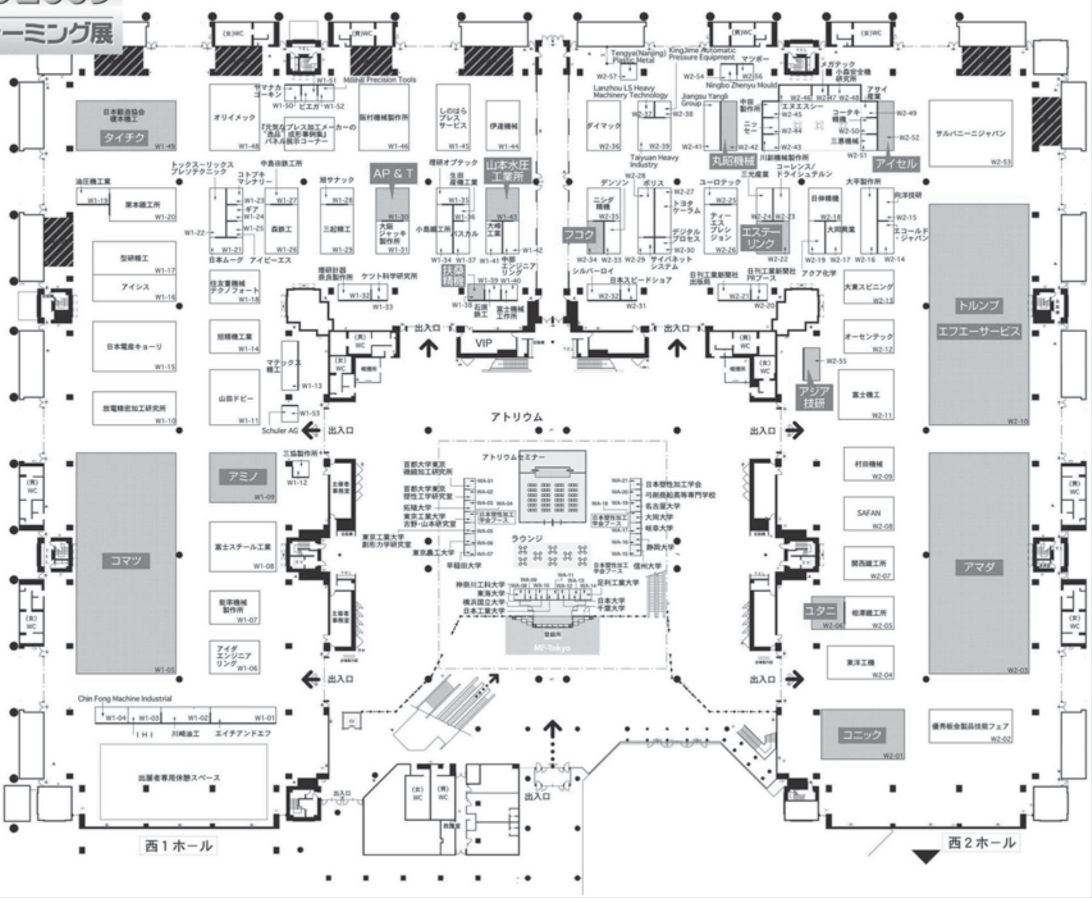
日本鍛圧機械工業会は工業会創立60周年記念事業として、塑性加工技術展示会「MF－Tokyo2009プレス・板金・フォーミング展」を10月14日から17日の4日間、東京ビッグサイト西展示棟1－2ホールにおいて開催いたします。この展示会は鍛圧機械であるプレス機械や板金機械、そしてフォーミング機械と塑性加工技術を合わせた「塑性加工の総合技術展」として、モノづくりの未来へ向けた新しい道を探ることを目指しております。

「進化するエコフォーミング金属加工技術展」を副題として掲げ、機械業界初のMFエコマシン認証制度に適合した環境に優しい「MFエコマシン」を展示いたします。「MFエコマシン」の認証基準は2000年基準に対し、省エネ率は10%以上削減ですが、現在19社31製品115機種が認証され、認証機種の平均省エネ率は41・6%の削減となっています。この10年間の鍛圧機械の技術革新をご覧ください。

初回開催となる本展には、112社・団体（内部出品含め202社）よりご出展いただき、うち海外からは7カ国17社となりました。701小間という出展規模での開催となり、うち2割が海外からの出品小間となっております。15日はトヨタ自動車の牟田常務役員の特別講演のほか、14日から、日本塑性加工学会テクニカルセミナー18講座が開催され、大学からは「研究室ブース」を20ブース設置していただいております。さらに大手出展者によるテクニカルセミナー18講座、出展者アトリウムセミナー147講座を開催いたします。

この展示会がお客さまと出展者の相互コミュニケーションを通し、相互の知識向上とビジネス展開の場として、具体的な成果が上がるよう願ってやみません。

MF-Tokyo 2009
プレス・板金・フォーミング展

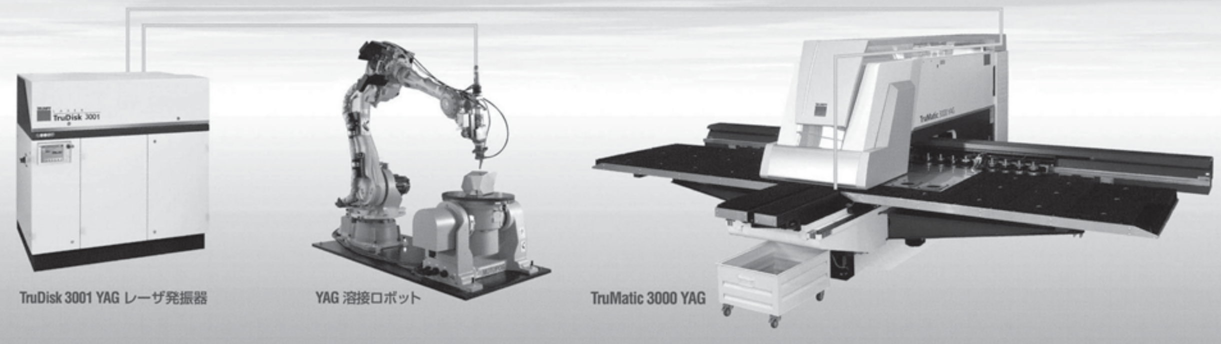


トルンプ「レーザネットワーク※」が板金加工の常識を覆す！

NCパンチプレスのリプレースは、また NCパンチプレスですか？

超短納期時代にマッチした次世代複合機登場！

トルンプはパンチング・フォーミング・レーザ切断に加え、YAG 溶接までの加工を可能にした、次世代型工程集約パンチ・レーザ複合加工機 TruMatic 3000 YAG を開発。レーザ発振器を従来の CO_2 方式から YAG 方式に変更するという画期的なコンセプトでスペース・エネルギー・稼働時間の全ての面で従来の常識を覆す世界初の複合加工機です。NC パンチのリプレースをお考えの皆様に、多用なニーズへの対応、他社との差別化を可能にする、複合加工機 TruMatic 3000 YAGをご提案いたします。



TruDisk 3001 YAG レーザ発振器　　YAG 溶接ロボット　　TruMatic 3000 YAG

※レーザネットワークとは・・・
TruMatic 3000 YAG パンチレーザ複合機とYAG溶接システムの両方を、1 台の TruDisk・YAG 発振器でタイムシェアすることで、パンチ加工時にYAG溶接ができるシステムで、発振器を効率的に稼動させることができます。

MF-TOKYO 2009 展示・実演のご案内

MF-TOKYO2009では世界初の複合加工機TruMatic 3000 YAGを展示・実演いたします。ご来場・ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

MF-TOKYO 2009プレス・板金・フォーミング展
日時：2009年10月14日(水)～10月17日(土) 10:00～17:00　場所：東京ビッグサイト(国際展示場)　ブース：西2ホール W2-10

トルンプはドイツ規格 DIN EN ISO 9001およびVDA6.4を取得しています。

トルンプ株式会社
本 社／〒226-0006 横浜市緑区白山 1-18-2
電 話 045-931-5710　ファックス 045-931-5714
E-mail:info@jp.trumpf.com
http://www.jp.trumpf.com

TRUMPF

■ 日刊工業新聞社　ホームページ

（「MF-Tokyo 2009」公式ホームページ）

■ 新天地へ　鍛圧・板金マシンは今

（日刊工業新聞　2009. 6. 9～10.6付　計33回）

■ 主役を狙え！

（日刊工業新聞　2009. 9.16～10. 12付　計8回）

主役を狙え！

MF-Tokyo2009

プレス・板金・フォーミング展

10月14－17日・東京ビッグサイト

環境に配慮した製造業の発展に一役―。日本鍛圧機械工業会と日刊工業新聞社は10月14－17日、東京・有明の東京ビッグサイトで「MF・Tokyo2009　プレス・板金・フォーミング展」を開く。日鍛工の創立60周年記念事業であり、世界有数の鍛圧機械見本市を目指しての初開催。202社・団体が701小間に出展する。会期を1カ月後に控え、出展の中堅各社の経営者に「一押し製品・技術」を聞く。

フコク

栗林さん

技術には自信

○…「技術には自信がある。市場を切り開いてきた自負もある」と胸を張るのは、フコク（横浜市港北区）社長の栗林修司さん。バキュームリフトと開先加工機をアピールする。

○…日本初となる鍛圧・板金加工の専門展「MF－Tokyo」への出展だが「なんの心配もない。販売店、ユーザーとも遠方からも来てもらえそうだ」と楽しみな様子。

○…出展の目玉はエア式真空吊り具。板金だけでなく石材、ガラス鉱工業もターゲットに据えた。「これまで諦めていたユーザーも獲得できそう」と開幕が待ち遠しいようだ。

富士機械工作所

藤田さん

内部のバリ防ぐ

○…「今回の出展の目玉は薄物パイプの切断機」と力を込めるのは、富士機械工作所（大阪市西淀川区）社長の藤田耕平さん。「切断後の形の修正が不要で製造工程を効率化できる」とメリットを訴える。

○…後処理を不要にしたのは「わざと幅数㍉材のロスを発生させる」大胆な発想。切断による歪みを廃棄部分に集中させ製品部の形を保つ。パイプの内側から切断するため「内部のバリ発生を防ぐ」工夫もした。工程短縮により、金属ロスを出しても低コストになる。

○…同技術は米国の自動車部品向けに開発したもの。「国内の自動車マフラーや給湯器部品の製造用に売り込みたい」と考えだ。

アイセル

望月さん

需要は底堅い

○…「高精度に鉄板を曲げるベンディングローラーマシンに専用溶接機や2次加工機などを加えたシステム提案を展示会で行う」と意欲を示すのは、アイセル（大阪
尾市）社長の望月資
ん。
○…鉄板の曲げか
接、完成品に至るま
システムについて「
で提案できるのは
少ない。用途も既存
動車用マフラーに加
エアコン圧縮機用な
広がっている」とい
○…創業期から手
るベンディングロー
シンは、高級機種と
ブランド認知されて
とか。「泥臭い業界
需要は底堅く、今後も地道に需要を掘り起こしていく」ときっぱり。

（随時掲載）

エフエーサービス

佐藤さん

「見える化」支援

○…「板金加工で現場任せの作業に目標値を設定できる。『見える化』につながるソフトです」と強調するのは、エフエーサービス（横浜市港北区）社長の佐藤正博さん。

○…MF－Tokyoにはトルンプと共同出展。設計データをもとに各工程にかかるタクトを算出するソフト「タスクプランナー」を展示する。エフエーサービスのCAD／CAMソフト「MetaCAM」に対応している。

○…溶接やバリ取りなど、各工程にかかる材料費や加工時間、加工費などが一目で分かる。「コストを意識したモノづくりを支援する」とサポート体制は万全だ。

主役を狙え！

MF-Tokyo2009

プレス・板金・フォーミング展

10月14－17日・東京ビッグサイト

エステーリンク

斎藤さん

中小の強い味方

○…「新潟の燕地域が誇る研磨技術とノウハウを生かした機械」と力を込めるのは、エステーリンク（新潟県燕市）社長の斎藤孝二さん。35年間、作業環境を良くする集塵機から高性能のバリ取り機にいたる各種開発を進めてきた。

○…出展するバリ取り機は、「厚さ0・1㍉－70㍉材の各種板金のバリを高効率で均一に除去できる。タッチパネルで操作性も良い」と自信たっぷり。顧客の生の声を聞き、改良を加えてきた。

○…目下、「顧客とコンタクトを取りつつ、機能と環境の両面を提案する」と、あくまでも中小企業の強い味方に徹する考えだ。

理研計器奈良製作所

今西さん

新技術に挑戦

○…「出品を通じて新しい技術へ挑戦する当社の姿勢を見てほしい」と強調するのは、理研計器奈良製作所（奈良県桜井市）社長の今西昭之さん。理研計器の生産子会社で、自社製品の開発に力を入れる。

○…自信作の自動プレス監視モニターは「高精度検出が可能で、独自開発した業界初の超小型センサーも搭載した」。プレス工程で生じる細かい抜きカスが金型に入って起きる異常を検出・監視する。

○…プレス加工時の下死点データを連続して記録できる監視ユニットもアピール。「現場では1個単位の生産履歴管理が必要」と、売り込みに余念がない。

油圧機工業

奥谷さん

割れば大きな効果

○…油圧機工業（愛知県西尾市）は鋳物の不良品や湯道などを再利用前に破砕する装置のトップメーカー。社長の奥谷保明さんは「細かくすれば溶かすエネルギーを減らせて環境にも優しい」と自社製品に誇りを持っている。

○…鉄鋳物向けでトップだが、現状に甘んじることなく、アルミニウム鋳物対応の破砕機の開発に挑戦中。「展示会ではその模型を展示してPRする」と意欲を示す。

○…アルミ向けの開発を始めたのは「アルミの再利用は今後需要が拡大する」と見るため。「割るとどれほど大きな効果があるか、皆さんに知ってもらいたい」と意気込みを見せる。

アジア技研

溝口さん

品質・精度・価格

○…「密度の高い展示会になる」と今から開幕が待ち遠しい様子なのは、アジア技研（北九州市小倉北区）社長の溝口純一さん。日本初のプレス・板金・フォーミング展の開催を知り、迷わず出展を決めた。

○…出展の目玉はスタッド溶接ロボット。「100％自社製という強みを生かし、品質、精度、価格で来場者にアピールする」つもりだ。

○…同展には顧客や関連業者も多数来場する。業界ニーズが深掘りできる絶好の機会だ。それだけに、「お客さまが今困っていることをいかに引き出すかがポイント」と意気軒高。

（随時掲載）

■ 出展企業紹介

（日刊工業新聞　2009.10.14付）

出展企業紹介

MF-Tokyo2009

プレス・板金・フォーミング展

10月14－17日・東京ビッグサイト

202社・団体 環境対応技術一堂に

東京・有明の東京ビッグサイトで14日に開幕する「MF－Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展」（日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社主催）では、環境対応の技術や製品などが一堂に披露される。切削機械とは異なり、切り粉を出さずに材料を有効活用できる塑性加工技術をはじめ、「MFエコマシン認証制度」の適合商品などが脚光を浴びそうだ。日本塑性加工学会や日本鍛造協会、優秀板金製品技能フェアといった特別協賛団体はコーナーを設ける。出展者テクニカルセミナー18講座やアトリウムセミナー47講座なども予定している。全202企業・団体のうち、展示会本体に出展する企業は次の通り（50音順）。（1面参照）

▽IHI▽相澤鐵工所▽アイシス▽アイセル▽アイダエンジニアリング▽アイピーエスとティー・アンド・エー・テクニカルスキル▽アクア化学▽アサイ産業▽旭サナック▽旭精機工業▽アジア技研▽アマダ▽アミノ▽生田産機工業▽石原鉄工と協和工業▽エイチアンドエフ▽エー・ピーアンドティー▽エコールド・ジャパン▽エステーリンクとエヌエスシーと楠精工▽榎本機工とクリアテック▽大阪ジャッキ製作所▽オーセンテック▽大峰工業▽オリイメック▽型研精工▽川崎油工▽川副機械製作所▽関西鐵工所▽ギア▽King Jime Automatic Pressure Equipment▽栗本鐵工所▽ケツト科学研究所▽向洋技研▽コータキ精機と岩谷産業▽コーレンス/Dreistern▽小島鐵工所▽コトブキマシナリーと山崎金属産業▽コニックとキャドマック▽コマツ、コマツ産機、コマツNTC▽小森安全機研究所▽サイバネットシステム▽阪村機械製作所▽SAFAN▽サルバニーニジャパン▽三起精工▽三協製作所▽三恵機械▽三光産業▽しのはらプレスサービス▽Jiangsu Yangli Group▽シルバーロイ▽Schuler AG▽住友重機械テクノフォート▽大同興業▽大東スピニング▽大平製作所▽Taiyuan Heavy Industry▽ダイマック▽伊達機械▽中部エンジニアリング▽Chin Fong Machine Industrial▽ティーエスプレシジョン▽デジタルプロセスとシーメンスPLMソフトウェア▽デンソン▽騰亜（南京）塑料五金製品▽東洋工機▽トックスーリックス　プレソテクニック▽トヨタケーラム▽トルンプとエフエーサービス▽中島田鉄工所▽中田製作所▽ニシダ精機▽日伸精機▽ニッセー▽日本スピードショアとヤマシタワークス▽日本電産キョーリ▽日本ムーグ▽Ningbo Zhenyu Mould▽能率機械製作所▽パスカル▽ピエガ▽フコク▽富士機械工作所▽富士機工▽富士スチール工業▽扶桑精機▽放電精密加工研究所▽ポリス▽マツボーと高性能駆動装置開発▽マテックス精工▽丸昭機械▽Millihill Precision Tools▽村田機械▽メガテック▽森鉄工▽山田ドビー▽ヤマナカゴーキン▽山本水圧工業所▽油圧機工業▽ユーロテック▽ユタニ▽Lanzhou LS Heavy Machinery Technology▽理研オプテック▽理研計器奈良製作所

■ きょう開幕

（日刊工業新聞　2009. 10.14付）

プレス・板金・フォーミング展

きょう開幕

東京ビッグサイト

日鍛工・本社主催

日本鍛圧機械工業会と日刊工業新聞社が主催するプレス機械・板金機械の国際見本市「MF―Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展」が14日、東京・有明の東京ビッグサイトで開幕する。日鍛工創立60周年記念事業で、塑性加工技術の総合展は日本で初めての開催。国内外の202社・団体が701小間に出展、最新の金属加工技術をアピールする。

（6面に出展企業一覧）

サブテーマは「進化するエコフォーミング金属加工技術展」で、環境対応技術・製品は見どころの一つ。省エネ性能の高い機械を日鍛工が認証した「MFエコマシン認証制度」の取得機種が主役になりそう。従来難しかった加工を可能にするサーボ技術も注目される。

15日14時からはトヨタ自動車の牟田弘文常務役員による特別講演を開催するほか、14―16日には日本塑性加工学会などがテクニカルセミナーを開く。会期は17日まで。入場料は1000円。

■ 開幕

（日刊工業新聞　2009. 10.15付）

プレス・板金・フォーミング展―開幕

エコに焦点

プレス機械と板金機械の国際見本市「MF―Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展」（日本鍛圧機械工業会、日刊工業新聞社主催）が14日、東京・有明の東京ビッグサイトで幕を開けた。関連メーカーなど国内外の202社・団体が701小間に出展。環境負荷の低い最新機種や塑性加工技術を見ようという来場者で会場は熱気に包まれている。

（7面に関連記事、最終面に「深層断面」）

最新機種などに来場者の関心が集まった

開会式では日鍛工の春山紀泰会長（エイチアンドエフ相談役）が「受注が落ち込む中でも会員の熱意は衰えず、念願だった独自展の開催にこぎ着けた。最大のテーマは〝エコ〟。次の発展に向けた商談の場にしてほしい」とあいさつした。

16日まで併催される日本塑性加工学会セミナーでは、多彩な研究成果などが紹介される。15日には牟田弘文トヨタ自動車常務役員による特別講演「トヨタの環境に配慮したものづくり」を行う。17日までの会期中に4万人の来場を見込んでいる。入場料1000円。

■ 会期中

（日刊工業新聞　2009. 10.15付　10.16付）

エコマシン認証 アピール

プレス・板金・フォーミング展

東京・有明の東京ビッグサイトで17日まで開催中の「MF―Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展」で環境対応機が注目されている。日本鍛圧機械工業会が今年4月に始めた「MFエコマシン認証制度」に基づく、環境負荷の低い認証取得製品をアピールする企業が目立つ。（6面に関連記事）

■ 盛況裏に閉幕

（日刊工業新聞　2009. 10.19付）

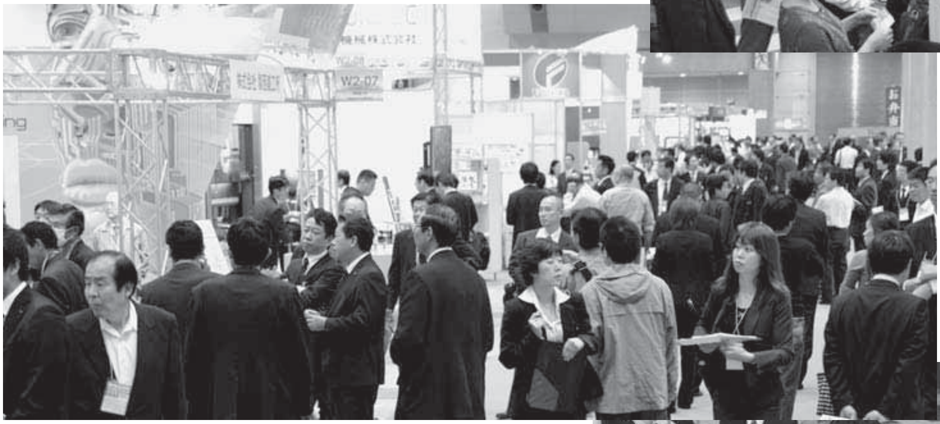
プレス・板金・フォーミング展 来場2万人超 盛況裏に閉幕

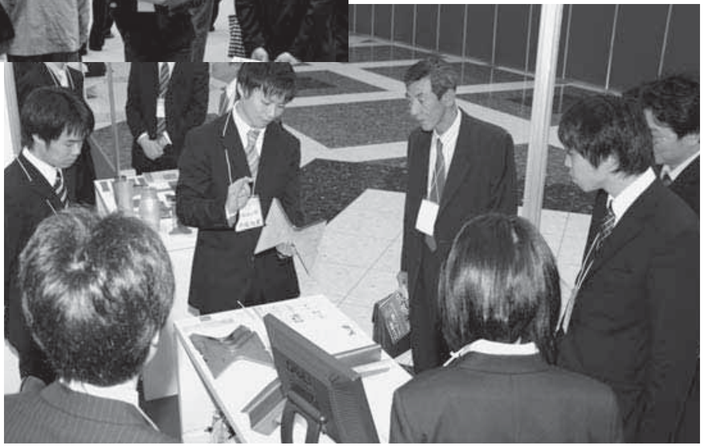
東京・有明の東京ビッグサイトで14日から開いていた「MF―Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展」（日本鍛圧機械工業会、日刊工業新聞社主催）は17日閉幕した。環境負荷の少ないプレス機械や板金機械、各種塑性加工技術などの国際見本市として初めて開催。202社・団体が701小間に出展し、活発な商談や情報交流が繰り広げられた。期間中の来場者は2万7162人だった。

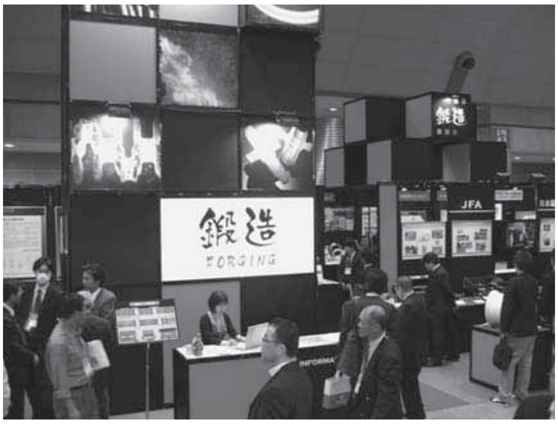
お礼

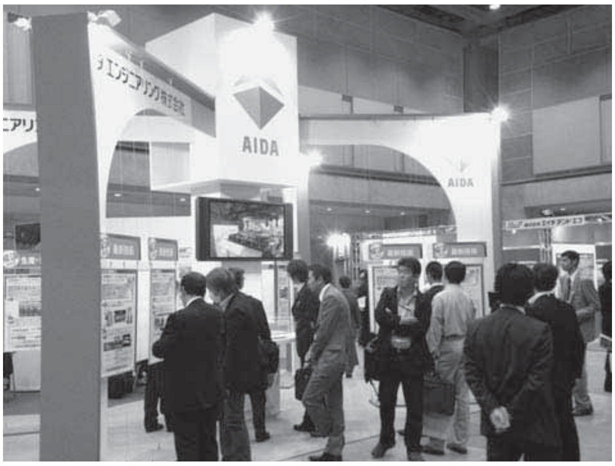
日本鍛圧機械工業会と日刊工業新聞社主催の「MF―Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展」は17日、盛況のうち閉幕しました。ご支援・ご協力いただきました関係諸官庁・団体ならびに出展者各位に心からお礼申し上げます。

日本鍛圧機械工業会
日刊工業新聞社

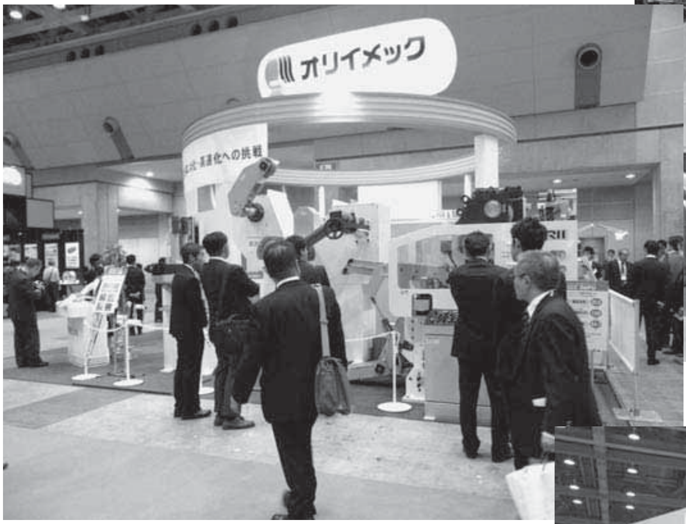

W2-07




鍛造
FORGING
JFA


AIDA
AIDA

AMADA

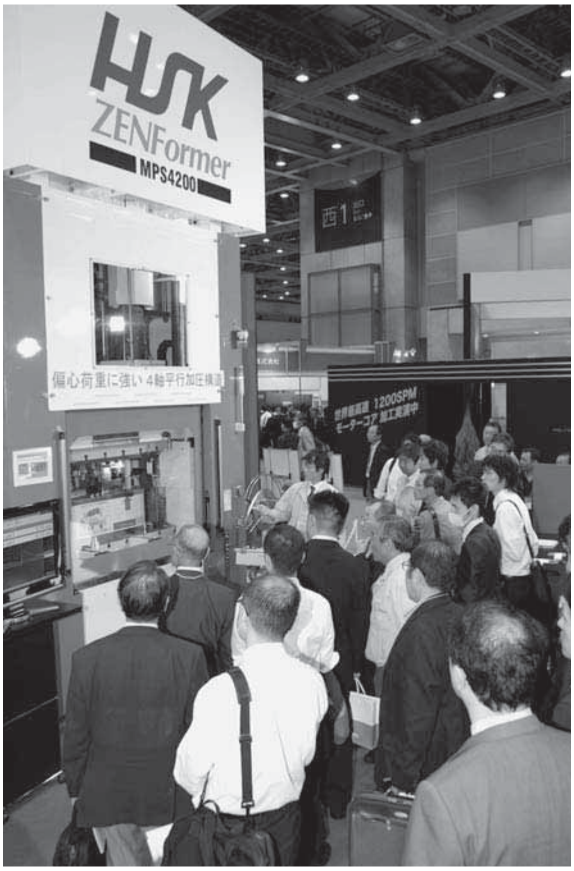

オリイメック

KOMATSU
TWISTER BLADE

YAMADA DOBBY
YAMADA DOBBY

TRUMPF
トルンプ株式会社

SERVO PRESS
FUJI-STEEL
FSPH2-2500


HSK
ZENFormer
MPS4200
偏心荷重に強い 4軸平行加圧構造

○特別講演

○テクニカルセミナー

○アトリウムセミナー

「MF-Tokyo 2009　プレス・板金・フォーミング展」会期中の取材報道機関

iDOデジタル出版
アルファ企画
インダストリー・ジャパン
運輸新聞
エンジニアリングニュース社
旺文社
化学工業日報社
ガスメディア社
金型新聞社
カロス出版
金属産業新聞社
工業調査会
工業技術新聞社
産報出版
重化学工業通信社
潤滑通信社
商工経済新聞社
新報
素形材通信社
トップチャンネル
塗料報知新聞社
日刊自動車新聞社
日経BP社
日本物流新聞社
日本経済新聞社
ニュースダイジェスト社
ねじの世界社
ピー・オー・ピー
ファスナーレポート社
ファスニングジャーナル
プレスフォーミングジャーナル社
マシニスト出版
理工出版社

発　行　日　　平成21年12月
発　　　行　　日刊工業新聞社　業務局　イベント事業部
「MF-Tokyo 2009　プレス・板金・フォーミング展」事業局
〒103-8584　東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL 03-5644-7221　FAX 03-5641-8321
印　　　刷　　有限会社ダイム
〒113-0033　東京都文京区本郷4-1-1

次回開催ご案内

MF-Tokyo 2011

プレス・板金・フォーミング展

2011年に東京ビッグサイトで開催予定

※詳細はパンフレットが出来上がり次第
ご案内させていただきます。

お問い合わせ

●一般社団法人　日本鍛圧機械工業会

〒105-0011　東京都港区芝公園３-５-８　機械振興会館３F
TEL.03-3432-4579　FAX.03-3432-4804
http://www.j-fma.or.jp

●日刊工業新聞社　業務局イベント事業部

〒103-8584　東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL.03-5644-7221　FAX.03-5641-8321
http://www.nikkan.co.jp/eve/mf-tokyo/